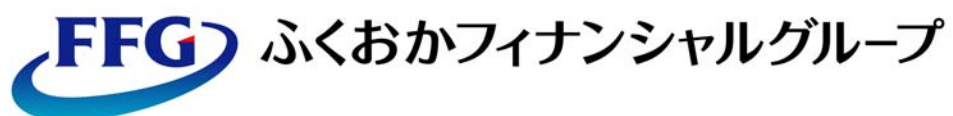


平成20年度中間期決算説明資料

あなたのいちばんに。



 福岡銀行  熊本ファミリー銀行  親和銀行

I 平成20年度中間期 決算ダイジェスト

ページ

(補足説明)	1
1 損益の状況	
(1) 業績サマリー	2～5
(2) 業務粗利益	6～7
(3) 経費の状況	8
(4) 信用コストの状況	9
(5) 臨時損益等及び特別損益(信用コスト除く)の状況	10
2 資産・負債の状況	
(1) 貸出金の状況	11
(2) 預金の状況	12
(3) 資産運用商品の状況	13
(4) 有価証券の状況	14～15
3 不良債権の状況	16
4 自己資本の状況	17

II 平成20年度中間期 決算の概況

1 損益の状況	18～22
2 業務純益	23
3 資金平残	24～25
4 利 鞘	26～27
5 有価証券関係損益	28～29
6 自己資本比率及び繰延税金資産	30～33
7 ROE	34
8 役職員数	35
9 拠点数	36

III 貸出金等の状況

1 リスク管理債権(銀行法ベース)の状況	37～38
2 貸倒引当金等の状況	39
3 リスク管理債権に対する保全状況	40
4 金融再生法開示債権の状況	41～42
5 金融再生法開示債権の保全状況	43～45
6 子銀行における自己査定の状況	46～50
7 業種別貸出金状況等	51～54
8 不良債権のオフバランス化実績	55～57
9 ローン残高	57
10 中小企業等貸出金残高・比率	58
11 国別貸出金状況等	58～59

～補足説明～

- 平成19年9月28日に株式会社親和銀行の株式を取得したため、株式会社親和銀行(及びその関連会社)は、当社の連結子会社となりました。(みなし取得日平成19年9月30日)したがって、株式会社親和銀行連結の損益については、19年中間期の損益は、FFG連結決算には反映されておられません。)
- 本説明資料では、各計数の定義を次のとおりとしております。

【FFG連結】	: 福岡フィナンシャルグループ連結の計数
【FFG単体】	: 福岡フィナンシャルグループ単体の計数
【3行グループ合算】	: 福岡銀行グループ、熊本ファミリー銀行グループ、親和銀行グループの連結計数を単純合算した計数
【3行合算】	: 福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行の単体計数を単純合算した計数(親和銀行の損益についても、19年中間期の損益を単純合算しております。)
【3行合算+分割子会社】	: 【3行合算】と親和コーポレート・パートナーズを単純合算した計数
【福岡銀行連結】	: 福岡銀行グループ連結の計数
【熊本ファミリー銀行連結】	: 熊本ファミリー銀行グループ連結の計数
【親和銀行連結】	: 親和銀行グループ連結の計数
【福岡銀行単体】	: 福岡銀行単体の計数
【熊本ファミリー銀行単体】	: 熊本ファミリー銀行単体の計数
【親和銀行単体】	: 親和銀行単体の計数
【親和銀行単体+分割子会社】	: 【親和銀行単体】と親和コーポレート・パートナーズを単純合算した計数

I 平成20年度中間期 決算ダイジェスト

1. 損益の状況

(1) 業績サマリー

FFG連結

※平成19年中間期の【FFG連結】には、親和銀行連結損益は含まれておりません。（単位：百万円）

	平成20年中間期	前年同期比	平成19年中間期
経常収益	148,069	24,683	123,386
業務粗利益	92,688	11,008	81,680
資金利益	83,934	17,435	66,499
役務取引等利益	14,654	1,297	13,357
特定取引利益	113	△ 216	329
その他業務利益	△ 6,013	△ 7,506	1,493
うち国債等債券損益	△ 7,999	△ 6,615	△ 1,384
経費（除く臨時処理分）	64,816	16,290	48,526
① 一般貸倒引当金繰入額	△ 13,727	△ 12,066	△ 1,661
業務純益	41,599	6,784	34,815
コア業務純益	35,871	1,333	34,538
臨時損益等	△ 22,763	△ 13,398	△ 9,365
② 不良債権処理額	28,110	20,392	7,718
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	—	16	△ 16
（信用コスト①+②+③+④-⑤）	12,894	6,858	6,036
株式等関係損益	7,518	8,224	△ 706
④ 利息返還損失引当金繰入額	7	7	—
その他臨時損益等	△ 2,163	△ 1,206	△ 957
経常利益	18,836	△ 6,613	25,449
特別損益	△ 283	407	△ 690
⑤ うち償却債権取立益	1,496	1,493	3
うち固定資産減損損失	306	△ 26	332
税引前中間当期純利益	18,553	△ 6,206	24,759
中間純利益	10,599	△ 2,110	12,709

（注1）記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

（注2）コア業務純益（35,871百万円）

＝ 業務純益（41,599百万円）＋ 一般貸倒引当金繰入額（△13,727百万円）－ 国債等債券損益（△7,999百万円）

■業績サマリー

コア業務純益 359億円

- コア業務純益は、投資信託販売低迷等による役務取引利益の減少もあり、359億円となりました。

経常利益 188億円

- 経常利益は、信用コストが大幅に減少（前年の3行グループ合算との対比▲871億円）したことを主因に、188億円の経常黒字となりました。

中間純利益 106億円

- 中間純利益は、以上により106億円となりました。

ご参考

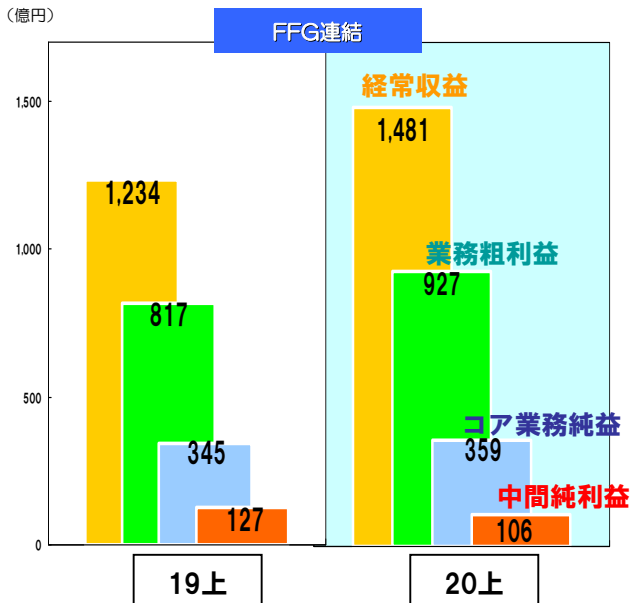
3行グループ合算

（単位：百万円）

	平成20年中間期	前年同期比	平成19年中間期
経常収益	151,931	△ 148	152,079
業務粗利益	93,893	△ 8,596	102,489
資金利益	84,096	△ 988	85,084
役務取引等利益	14,710	△ 2,178	16,888
特定取引利益	113	△ 216	329
その他業務利益	△ 5,026	△ 5,212	186
うち国債等債券損益	△ 8,097	△ 6,468	△ 1,629
経費（除く臨時処理分）	61,494	△ 429	61,923
① 一般貸倒引当金繰入額	△ 13,691	△ 45,714	32,023
業務純益	46,090	37,549	8,541
コア業務純益	40,496	△ 1,698	42,194
臨時損益等	△ 21,444	70,060	△ 91,504
② 不良債権処理額	28,110	△ 40,720	68,830
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	—	16	△ 16
（信用コスト①+②+③+④-⑤）	12,930	△ 87,091	100,021
株式等関係損益	8,617	28,510	△ 19,893
④ 利息返還損失引当金繰入額	7	7	—
その他臨時損益等	△ 1,943	854	△ 2,797
経常利益	24,645	107,607	△ 82,962
特別損益	△ 318	6,198	△ 6,516
⑤ うち償却債権取立益	1,496	682	814
うち固定資産減損損失	331	△ 6,394	6,725
税引前中間当期純利益	24,327	113,806	△ 89,479
中間純利益	16,554	113,694	△ 97,140

■ 損益の推移

（億円）



（注1）親和銀行及びその関連会社は、平成19年9月28日にFFGの連結対象子会社となりました。（みなし取得日平成19年9月30日）そのため、親和銀行連結の損益につきましては、19年度下半期からFFG連結損益に反映されております。（親和銀行連結の19年度上期の損益は、FFG連結損益に反映されません。）

（注2）19年中間期における「3行グループ合算」計数における株式等関係損益▲199億円には、子銀行が保有していたFFG株式の売却損▲181億円（福岡銀行▲180億円、熊本ファミリー銀行▲1億円）が計上されております。なお、子銀行が計上した当売却損は、FFG連結決算上資本取引の対象となり損益が認識されないため、FFG連結損益に与える影響はありません。

福岡銀行単体

(単位: 百万円)

	平成20年 中間期	平成19年 中間期	前年同期比
経常収益	103,763	104,267	△ 504
業務粗利益	61,452	64,995	△ 3,543
資金利益	56,122	53,612	2,510
国内部門	52,848	51,789	1,059
国際部門	3,273	1,823	1,450
役務取引等利益	9,312	10,916	△ 1,604
特定取引利益	93	329	△ 236
その他業務利益	△ 4,075	136	△ 4,211
うち国債等債券損益	△ 5,447	△ 1,393	△ 4,054
うち外為売買損益	672	513	159
経費（除く臨時処理分）	37,145	37,277	△ 132
①一般貸倒引当金繰入額	3,267	△ 1,734	5,001
業務純益	21,039	29,452	△ 8,413
コア業務純益	29,754	29,111	643
臨時損益等	△ 4,706	△ 21,190	16,484
② 不良債権処理額	10,454	2,865	7,589
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	—	△ 16	16
（信用コスト①+②+③-④）	(13,722)	(1,113)	(12,609)
株式等関係損益	6,894	△ 18,071	24,965
その他臨時損益等	△ 1,145	△ 270	△ 875
経常利益	16,333	8,261	8,072
特別損益	△ 844	△ 677	△ 167
④ うち貸倒引当金純取崩益	—	—	—
税引前中間純利益	15,489	7,584	7,905
中間純利益	9,262	4,697	4,565

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 (29,754百万円)

＝ 業務純益 (21,039百万円) ＋ 一般貸倒引当金繰入額 (3,267百万円) － 国債等債券損益 (△5,447百万円)

業績サマリー

コア業務純益 298億円 (前年比 +6億円)

- コア業務純益は、役務取引等利益の減少を国内および国際部門資金利益の増加によりカバーし、前年比+6億円の298億円となりました。

【7年連続過去最高益を更新】

経常利益 163億円 (前年比 +81億円)

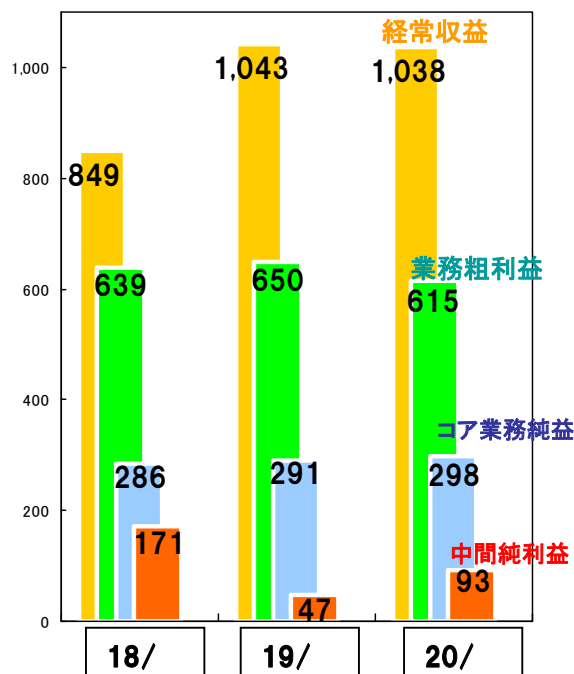
- 経常利益は、企業業績の悪化等による信用コストの増加、国内外の金融資本市場の低迷による保有有価証券の減損処理の発生がありましたが、前年度要因（福岡銀行が持つFFG株式の売却にかかる売却損の計上）がなくなったことから、前年比+81億円の163億円となりました。

中間純利益 93億円 (前年比 +46億円)

- 中間純利益は、以上により前年比+46億円の93億円となりました。

損益の推移

(億円)



熊本ファミリー銀行単体

(単位：百万円)

	平成20年 中間期	平成19年 中間期	前年同期比
経常収益	18,119	17,515	604
業務粗利益	11,982	12,822	△840
資金利益	11,460	12,076	△616
国内部門	11,414	12,082	△668
国際部門	45	△6	51
役務取引等利益	1,122	1,217	△95
その他業務利益	△600	△470	△130
うち国債等債券損益	279	8	271
うち外為売買損益	188	19	169
経費（除く臨時処理分）	8,142	9,143	△1,001
① 一般貸倒引当金繰入額	△643	△199	△444
業務純益	4,483	3,878	605
コア業務純益	3,560	3,670	△110
臨時損益等	△2,164	△5,077	2,913
② 不良債権処理額	2,021	3,672	△1,651
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	—	—	—
（信用コスト①+②+③-④-⑤）	(1,272)	(3,470)	(△2,198)
株式等関係損益	282	△708	990
その他臨時損益等	△426	△696	270
経常利益	2,318	△1,198	3,516
特別損益	△133	62	△195
④ うち貸倒引当金純取崩益	—	—	—
⑤ うち償却債権取立益	105	2	103
税引前中間純利益	2,184	△1,135	3,319
中間純利益	2,179	△1,959	4,138

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 (3,560百万円)

＝ 業務純益 (4,483百万円) ＋ 一般貸倒引当金繰入額 (△643百万円) － 国債等債券損益 (279百万円)

■業績サマリー

コア業務純益 36億円 (前年比▲1億円)

- コア業務純益は、国内資金利益の減少を経費削減によりカバーし、前年比ほぼ横這いの+36億円となりました。

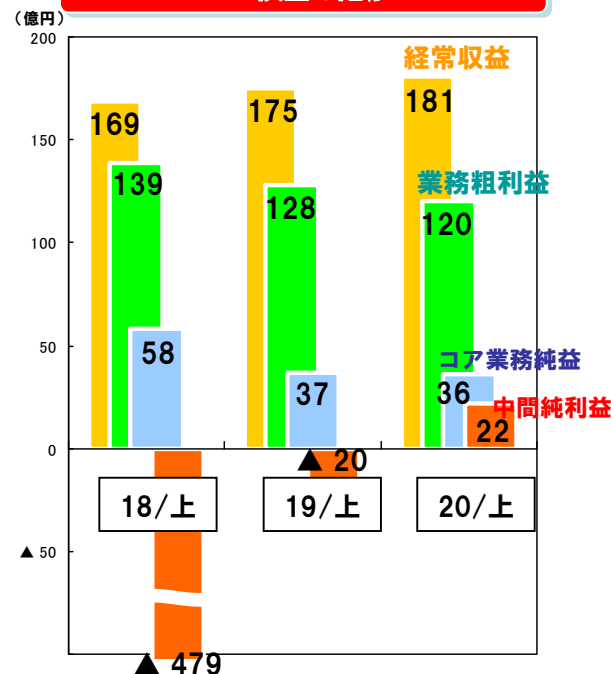
経常利益 23億円 (前年比+35億円)

- 経常利益は、信用コストの減少や株式関係損益の改善等により前年比+35億円の+23億円となりました。

中間純利益 22億円 (前年比+41億円)

- 以上により、中間純利益は、前年比+41億円の+22億円となりました。

■ 損益の推移



親和銀行単体

(単位：百万円)

	平成20年 中間期	平成19年 中間期	前年同期比
経常収益	26,624	27,520	△ 896
業務粗利益	14,920	19,942	△ 5,022
資金利益	15,786	18,499	△ 2,713
国内部門	15,646	18,464	△ 2,818
国際部門	140	35	105
役務取引等利益	2,512	3,047	△ 535
その他業務利益	△ 3,378	△ 1,605	△ 1,773
うち国債等債券損益	△ 2,952	△ 245	△ 2,707
うち外為売買損益	81	40	41
経費（除く臨時処理分）	13,472	14,086	△ 614
①一般貸倒引当金繰入額	—	34,269	△ 34,269
業務純益	1,448	△ 28,413	29,861
コア業務純益	4,400	6,101	△ 1,701
臨時損益等	△ 5,898	△ 63,811	57,913
② 不良債権処理額	6,656	60,606	△ 53,950
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	—	—	—
（信用コスト①+②+③-④-⑤-⑥）	(△ 3,532)	(94,085)	(△ 97,617)
株式等関係損益	1,447	△ 1,075	2,522
その他臨時損益等	△ 688	△ 2,129	1,441
経常利益	△ 4,449	△ 92,224	87,775
特別損益	9,690	△ 5,847	15,537
④ うち貸倒引当金純取崩益	8,718	—	8,718
⑤ うち投資損失引当金純取崩益	198	—	198
⑥ うち償却債権取立益	1,272	790	482
税引前中間純利益	5,240	△ 98,072	103,312
中間純利益	5,457	△ 100,555	106,012

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益（4,400百万円）

＝ 業務純益（1,448百万円）＋ 一般貸倒引当金繰入額（－百万円）－ 国債等債券損益（△2,952百万円）

■業績サマリー

コア業務純益 44億円（前年比 ▲17億円）

- コア業務純益は、店舗統廃合や不良債権処理による貸出金利息の減少（国内資金利益の減少）を主因として、前年比▲17億円の44億円となりました。

経常利益 ▲44億円（前年比 +878億円）

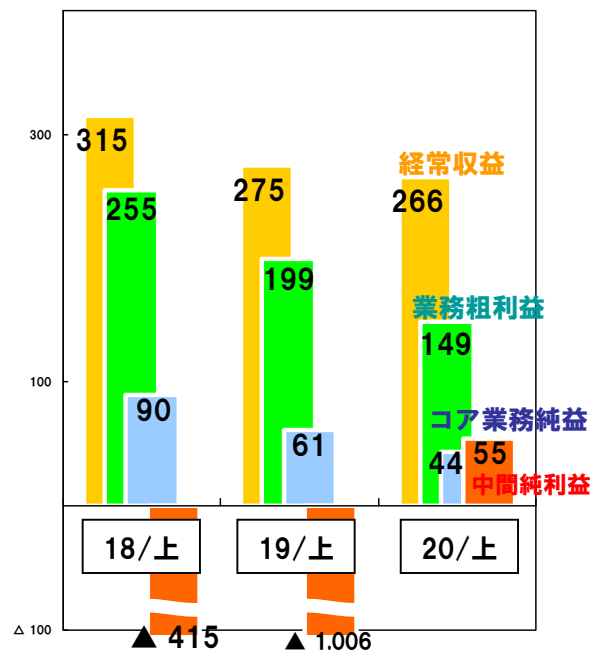
- 経常利益は、信用コストの大幅減少（前年比▲976億円）および株式関係損益の改善等を主因として、前年比+878億円の▲44億円となりました。

中間純利益 55億円（前年比 +1,060億円）

- 中間純利益は、貸倒引当金取崩益の計上により、前年比+1,060億円の+55億円となりました。

■ 損益の推移

(億円)



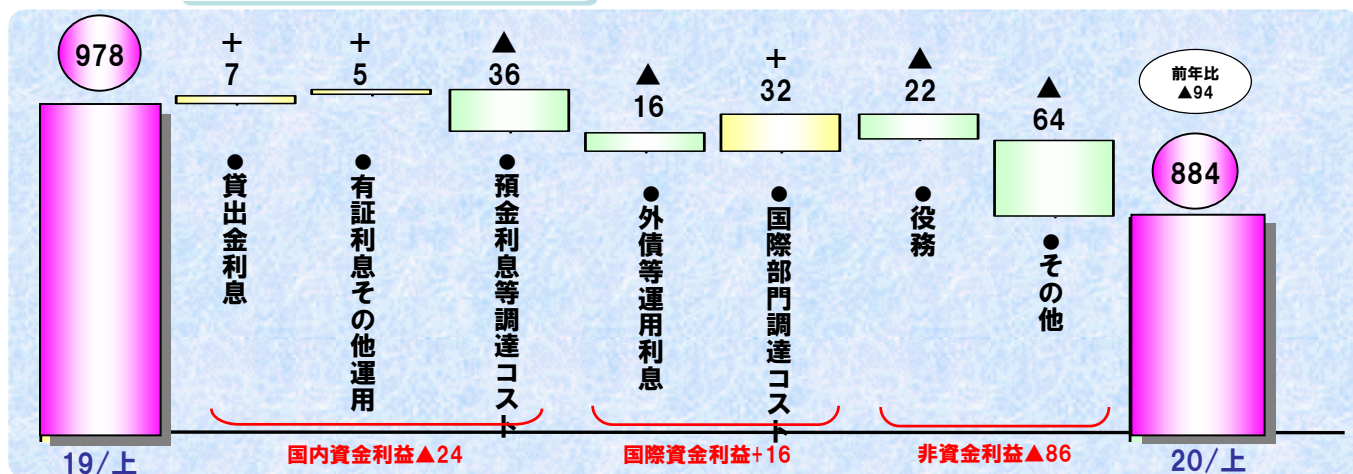
(2) 業務粗利益

(株) 福岡フィナンシャルグループ (8354) 平成20年度中間期決算説明資料

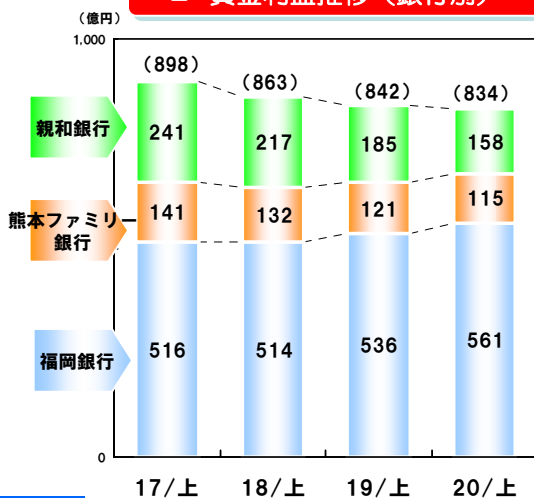
3行合算

■ 業務粗利益の増減内訳

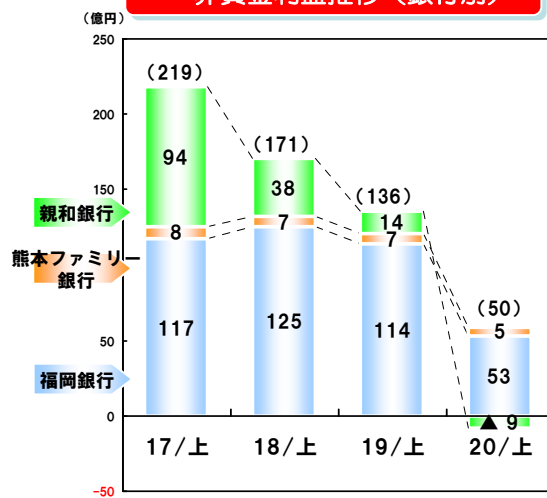
(億円)



■ 資金利益推移 (銀行別)



■ 非資金利益推移 (銀行別)

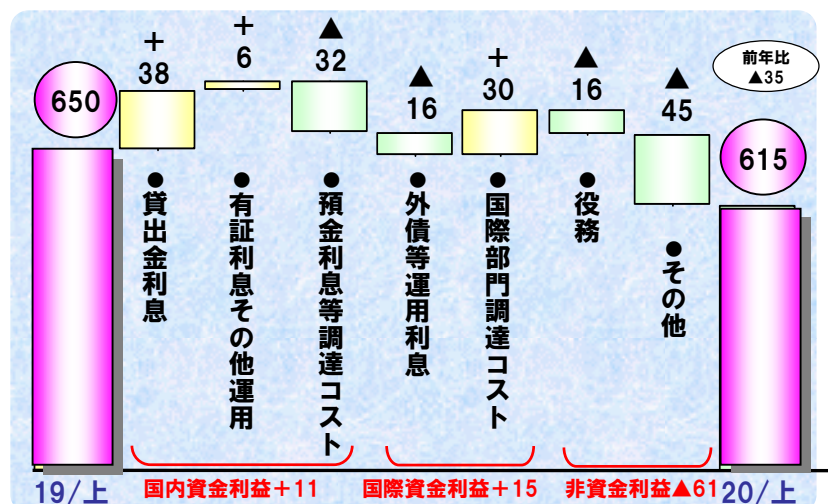


福岡銀行単体

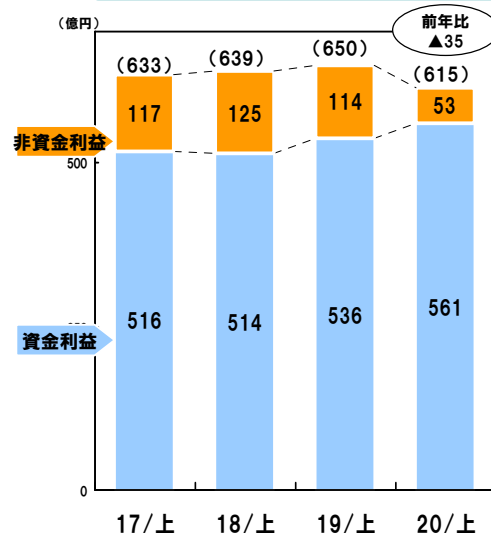
- 国内資金利益は、残高の増加による貸出金利息の増加等が、預金利息等調達コストの増加を上回り、前年比+11億円の増加となりました。
- 国際資金利益は、前年比+15億円の増加となりました。
- 非資金利益は、投資信託販売の低迷等による役務取引等利益の減少 (前年比▲16億円)、またCDO減損等による国債等債券損益の減少 (同▲41億円) により、前年比▲61億円の減少となりました。
- 以上の結果、業務粗利益は、前年比▲35億円減少し、615億円となりました。

■ 業務粗利益の増減内訳

(億円)



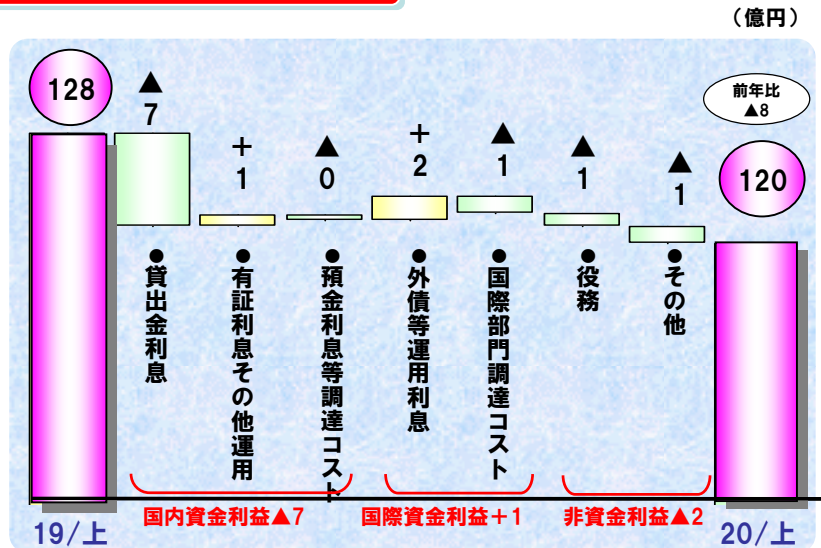
■ 業務粗利益推移



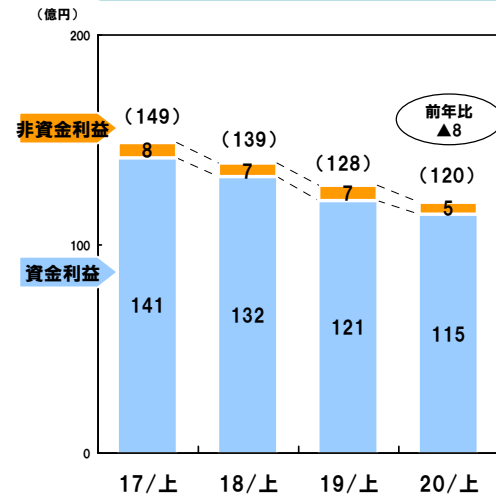
熊本ファミリー銀行単体

- 国内資金利益は、有価証券利息等は増加したものの、貸出金残高の減少による貸出金利息の減少等により、前年比▲7億円の減少となりました。
- 国際資金利益は、前年比+1億円の増加となりました。
- 以上に加え、非資金利益が前年比▲2億円の減少となった結果、業務粗利益は、前年比▲8億円減少し、120億円となりました。

■ 業務粗利益の増減内訳



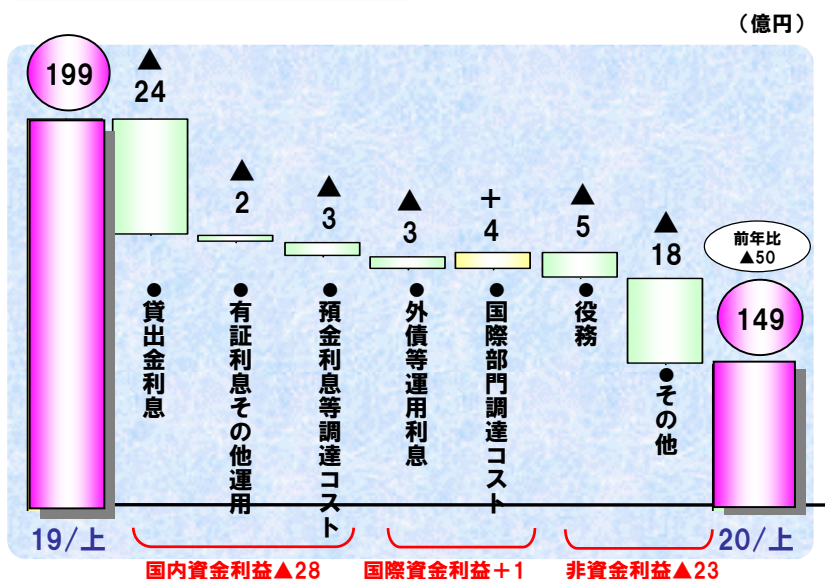
■ 業務粗利益推移



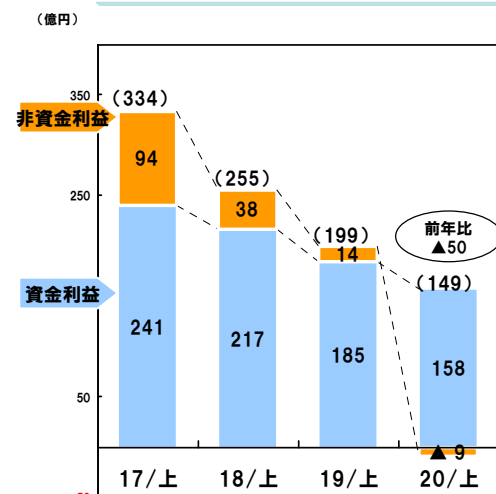
親和銀行単体

- 国内資金利益は、貸出金残高の減少による貸出金利息の減少及び預金利息等調達コストの増加等により、前年比▲28億円の減少となりました。
- 国際資金利益は、前年比+1億円の増加となりました。
- 非資金利益は、役員取引等利益の減少（前年比▲5億円）及びCDO減損等による国債等債券損益の減少を主因に、その他業務利益が減少（同▲18億円）したことにより、前年比▲23億円となりました。
- 以上の結果、業務粗利益は、前年比▲50億円減少し、149億円となりました。

■ 業務粗利益の増減内訳



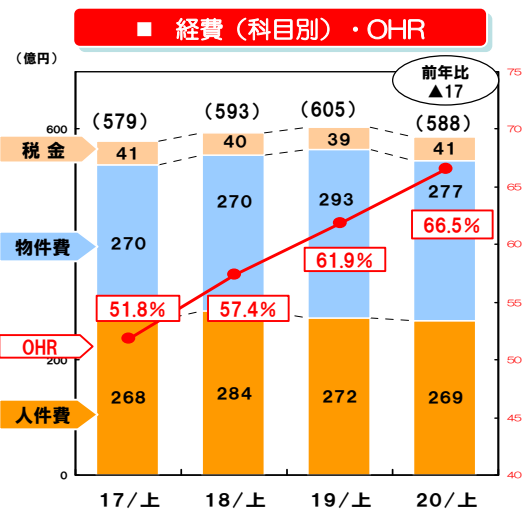
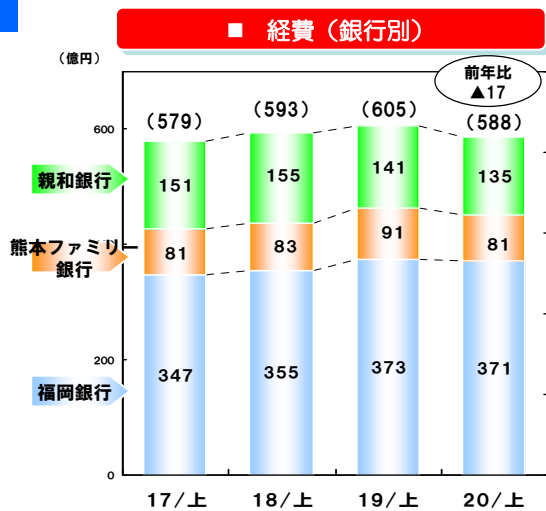
■ 業務粗利益推移



(3) 経費の状況

(株) 福岡ファイナンシャルグループ (8354) 平成20年度中間決算説明資料

3行合算



福岡銀行単体

- 物件費の減少等により、経費は前年比▲1億円減少し、371億円となりました。
- OHRは、業務粗利益の減少（同▲35億円）により、前年比+3.0%上昇し、60.4%となりました。

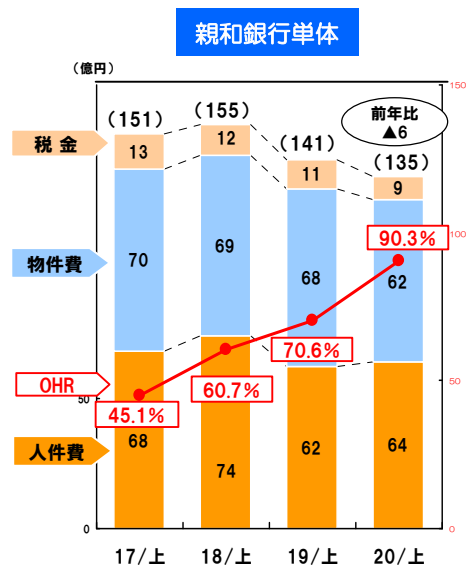
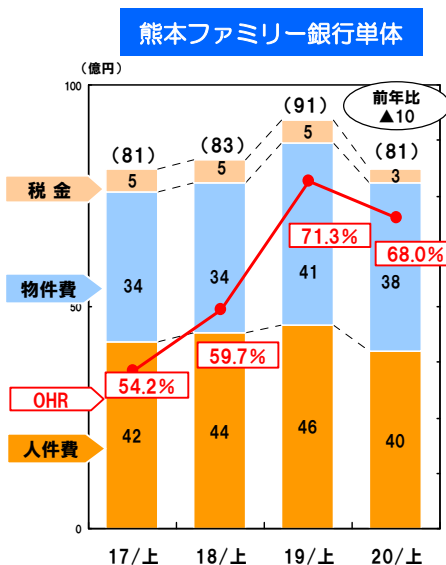
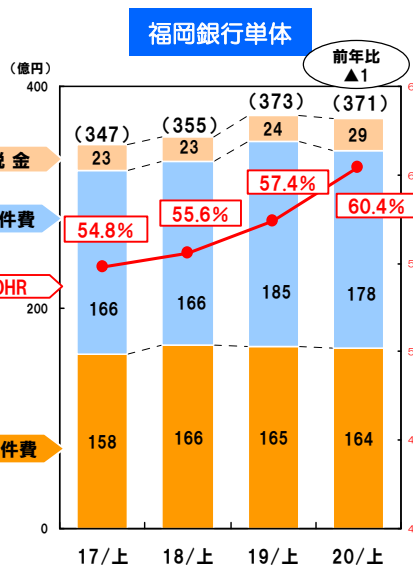
熊本ファミリー銀行単体

- 人件費の減少により、経費は前年比▲10億円減少し、81億円となりました。
- OHRは、経費の減少により、前年比▲3.3%低下し、68.0%となりました。

親和銀行単体

- 業務委託費等の物件費削減を主因とし、経費は前年比▲6億円減少し、135億円となりました。
- OHRは、経費は減少したものの（前年比▲6億円）、業務粗利益の減少（同▲50億円）により、前年比+19.7%上昇し、90.3%となりました。

■ 経費（科目別）・OHR

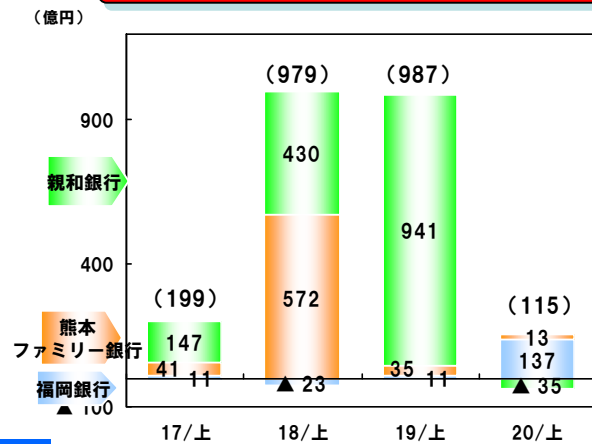


(4) 信用コストの状況

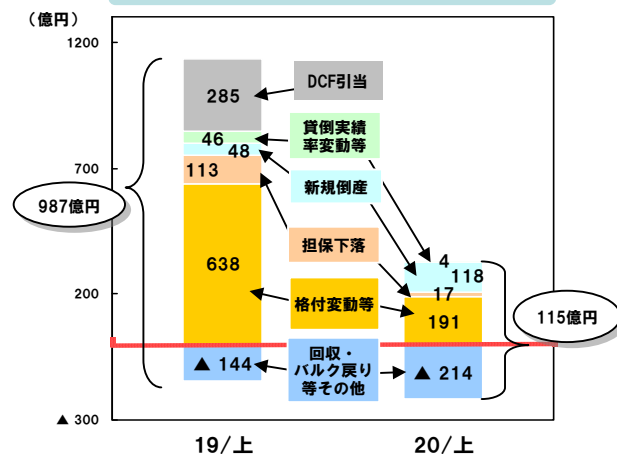
(株) 福岡フィナンシャルグループ (8354) 平成20年度中間決算説明資料

3行合算

■ 信用コストの推移



■ 信用コストの内訳



福岡銀行単体

- 信用コストは、企業業績の悪化による新規倒産や格下げ増加を主因として、前年比+126億円増加し137億円となりました。

熊本ファミリー銀行単体

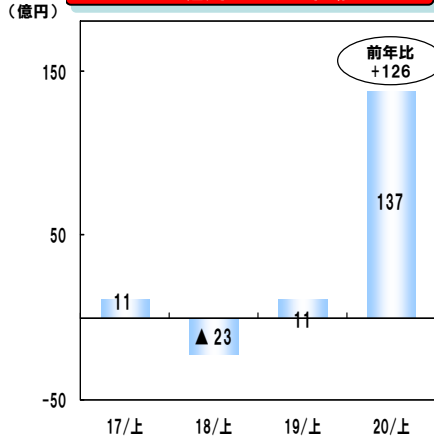
- 信用コストは、18年度において、福岡銀行の基準に統一し、自己査定を厳格化や担保評価見直しを行い将来のリスクに対する引当を行いました。20年中間期の信用コストは、前年比▲22億円減少し13億円となりました。

親和銀行単体

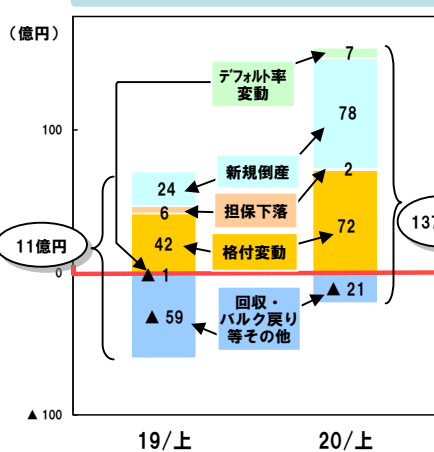
- 信用コストは、19年度にFFGの基準に統一し、自己査定を厳格化や担保評価見直しを行い将来に対する引当を行いました。20年中間期の信用コストは、前年比▲976億円と大幅に減少し▲35億円（信用コストの戻り）となりました。

福岡銀行単体

■ 信用コストの推移

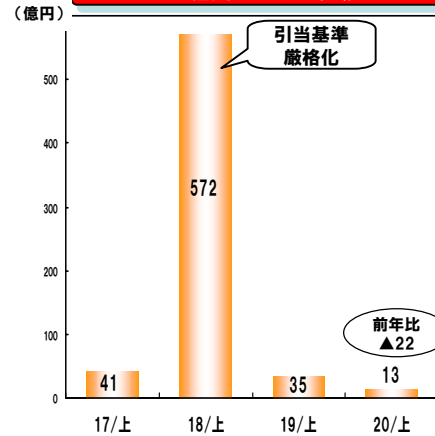


■ 信用コストの内訳

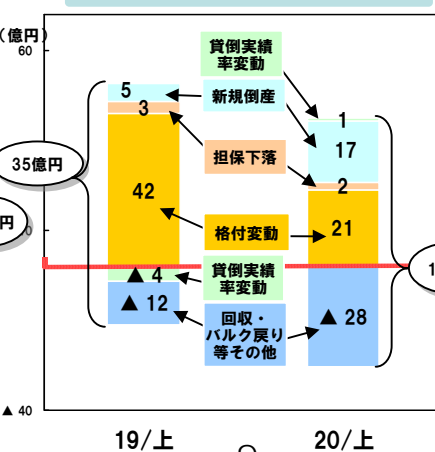


熊本ファミリー銀行単体

■ 信用コストの推移

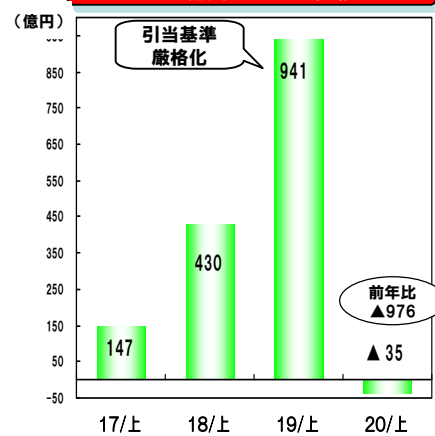


■ 信用コストの内訳

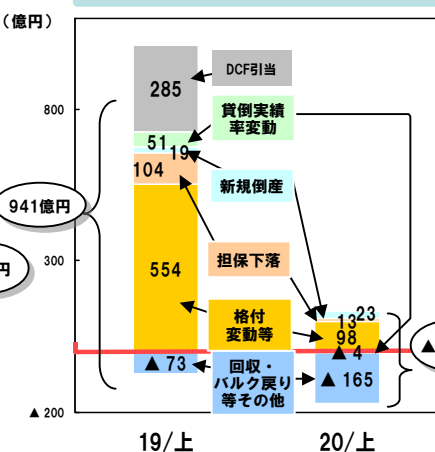


親和銀行単体

■ 信用コストの推移



■ 信用コストの内訳



(5) 臨時損益等及び特別損益（信用コスト除く）の状況

福岡銀行単体

- 臨時損益（除く信用コスト）は、政策投資株の見直し等による株式売却益を計上したことにより+57億円となりました。（前年比+241億円増加<前年度要因：FFG株式の売却に伴う売却損▲180億円>）
- 特別損益（除く信用コスト）は、前年比▲2億円減少し、▲8億円となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 臨時損益（除く信用コスト）は、株式関係損益の増加を主因に前年比+13億円増加し、▲1億円となりました。
- 特別損益（除く信用コスト）は、店舗移転や建替え計画等を織込んで固定資産減損▲1億円等を計上したため、前年比▲3億円減少し、▲2億円となりました。

親和銀行単体

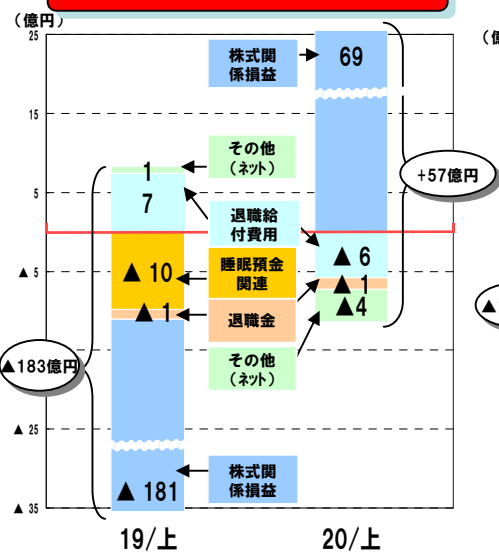
- 臨時損益（除く信用コスト）は、株式関係損益の増加を主因として+8億円となりました。（前年比+40億円増加）
- 特別損益（除く信用コスト）は、固定資産減損損失の減少を主因として前年比+61億円増加し、▲5億円となりました。

福岡銀行単体

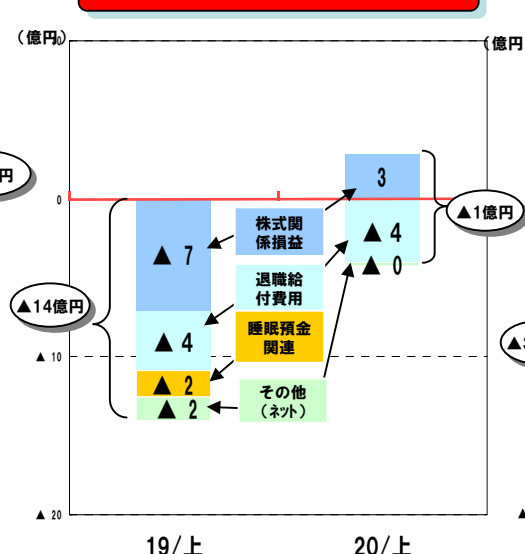
熊本ファミリー銀行単体

親和銀行単体

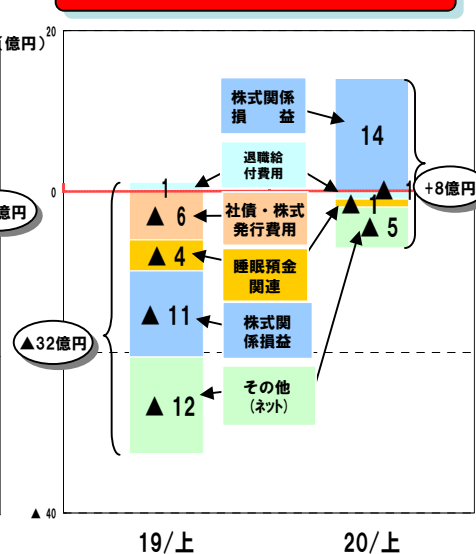
■ 臨時損益（除く信用コスト）



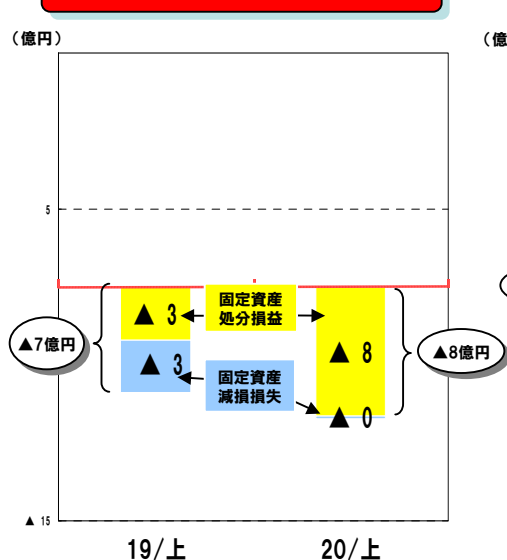
■ 臨時損益（除く信用コスト）



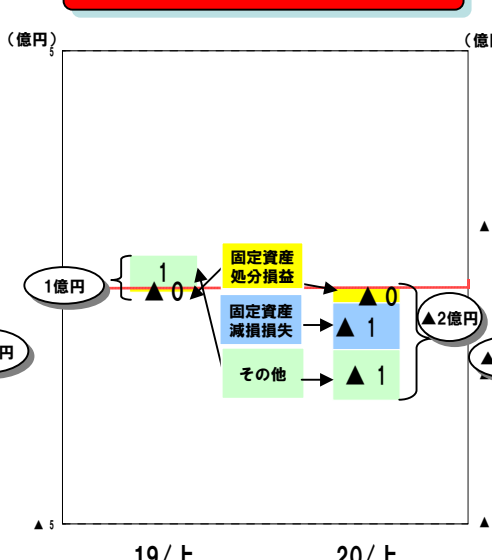
■ 臨時損益（除く信用コスト）



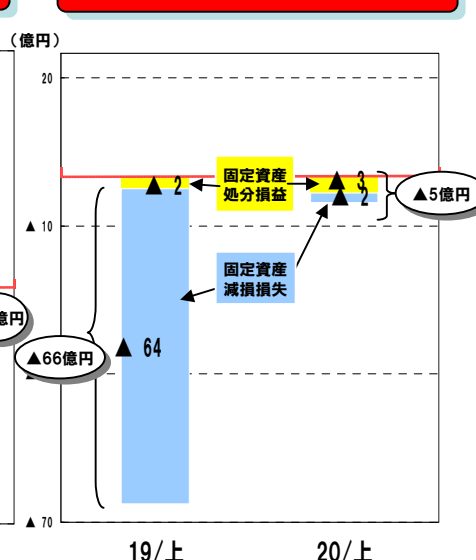
■ 特別損益（除く信用コスト）



■ 特別損益（除く信用コスト）



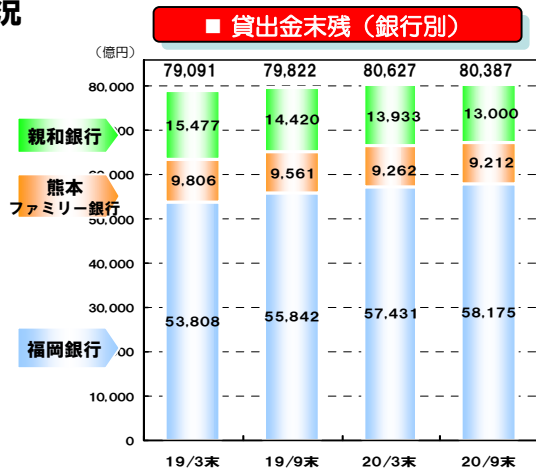
■ 特別損益（除く信用コスト）



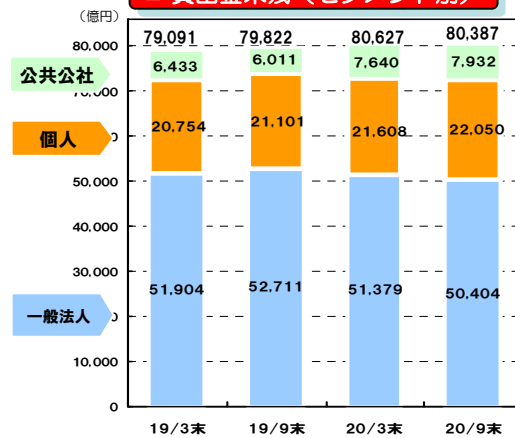
2. 資産・負債の状況

(1) 貸出金の状況

3行合算



■ 貸出金末残（セグメント別）



福岡銀行単体

- 総貸出金は、20/3末比+744億円増加し、58,175億円（前年比+2,333億円、年率4.2%）となりました。
- 個人部門は、20/3末比+344億円（前年比+668億円、年率4.5%）、法人部門は、同+399億円（同+1,665億円、年率4.1%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総貸出金は、20/3末比▲50億円減少し、9,212億円（前年比▲349億円、年率▲3.6%）となりました。
- 個人部門は、20/3末比+72億円（前年比+118億円、年率4.1%）、法人部門は同▲122億円（同▲467億円、年率▲7.0%）となりました。

親和銀行単体

- 総貸出金は、20/3末比▲933億円減少し、13,000億円（前年比▲1,420億円、年率▲9.8%）となりました。
- 個人部門は、20/3末比+26億円（前年比+163億円、年率5.1%）、法人部門は同▲961億円（同▲1,584億円、年率▲14.1%）となりました。（不良債権のオフバランス化の影響等）

(単位:億円)

		20年9月末 (年率: %)		20年3月末		19年9月末
			20/3末比		19/9末比	
3行合算	総貸出金	(0.7%)	80,387	△ 240	80,627	79,822
	個人部門	(4.5%)	22,050	442	21,608	21,101
	法人部門	(△ 0.7%)	58,337	△ 682	59,019	58,722
	一般法人	(△ 4.4%)	50,404	△ 975	51,379	52,711
	公共公社等	(32.0%)	7,932	292	7,640	6,011
福岡銀行単体	総貸出金	(4.2%)	58,175	744	57,431	55,842
	個人部門	(4.5%)	15,665	344	15,321	14,997
	法人部門	(4.1%)	42,510	399	42,111	40,845
	一般法人	(0.0%)	36,098	△ 10	36,108	36,097
	公共公社等	(35.1%)	6,413	410	6,003	4,748
福岡県内貸出金		(3.6%)	45,844	435	45,409	44,264
熊本ファミリー銀行単体	総貸出金	(△ 3.6%)	9,212	△ 50	9,262	9,561
	個人部門	(4.1%)	3,023	72	2,951	2,905
	法人部門	(△ 7.0%)	6,189	△ 122	6,311	6,656
	一般法人	(△ 8.4%)	5,852	△ 223	6,075	6,386
	公共公社等	(24.6%)	337	101	236	271
熊本県内貸出金		(8.1%)	8,061	37	8,024	7,459
親和銀行単体	総貸出金	(△ 9.8%)	13,000	△ 933	13,933	14,420
	個人部門	(5.1%)	3,362	26	3,336	3,199
	法人部門	(△ 14.1%)	9,637	△ 961	10,598	11,221
	一般法人	(△ 17.3%)	8,455	△ 741	9,196	10,228
	公共公社等	(19.2%)	1,183	△ 218	1,401	993
長崎県内貸出金		(△ 3.5%)	8,676	△ 528	9,204	8,989

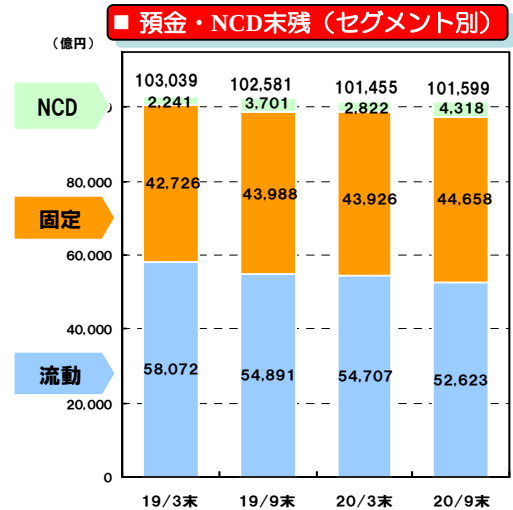
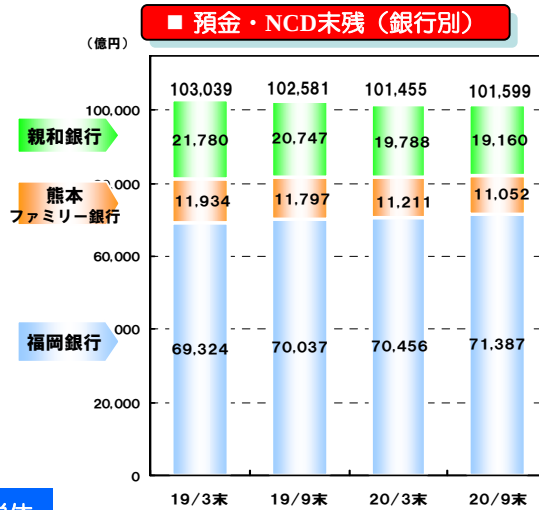
(注1) 貸出金には、福岡銀行のFFG向け貸出金（20年9月末および20年3月末 700億円、19年9月末 1,200億円）及び熊本ファミリー銀行向け貸出金（20年9月末・20年3月末・19年9月末 100億円）を含んでおります。

(注2) 親和銀行の個人部門・法人部門のセグメント分類については、過去の計数を含め、分類基準を福岡銀行および熊本ファミリー銀行の基準に変更し集計しております。

(2) 預金の状況

(株) 福岡フィナンシャルグループ (8354) 平成20年度中間決算説明資料

3行合算



福岡銀行単体

- 総資金（預金+NCD）は、20/3末比+931億円増加し、71,387億円（前年比+1,350億円、年率+1.9%）となりました。
- 個人預金は、20/3末比+1,124億円（前年比+2,370億円、年率5.0%）、法人預金は同▲1,492億円（前年比▲1,584億円、年率▲8.0%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総資金は、20/3末比▲159億円減少し、11,052億円（前年比▲745億円、年率▲6.3%）となりました。
- 個人預金は、20/3末比▲107億円（前年比▲321億円、年率▲3.6%）、法人預金は同▲52億円（同▲424億円、年率▲14.6%）となりました。

親和銀行単体

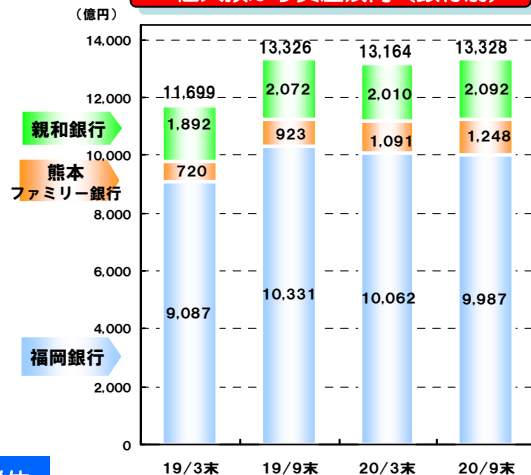
- 総資金は、20/3末比▲628億円減少し、19,160億円（前年比▲1,587億円、年率▲7.6%）となりました。
- 個人預金は、20/3末比▲557億円（前年比▲1,056億円、年率▲7.3%）、法人預金は、同▲268億円（同▲584億円、年率▲10.2%）となりました。

（単位：億円）

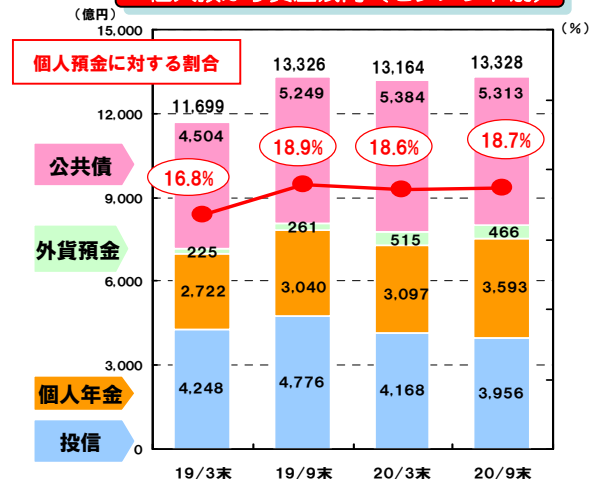
		20年9月末 (年率:%)		20年3月末		19年9月末
			20/3末比		19/9末比	
3行合算	個人預金	(1.4%)	71,405	460	70,945	70,411
	法人預金	(△ 9.1%)	25,876	△ 1,812	27,688	28,468
	合計	(△ 1.6%)	97,281	△ 1,352	98,633	98,880
	流動性	(△ 4.1%)	52,623	△ 2,084	54,707	54,891
	固定性	(1.5%)	44,658	732	43,926	43,988
	総資金(預金+NCD)	(△ 1.0%)	101,599	144	101,455	102,581
福岡銀行単体	個人預金	(5.0%)	49,434	1,124	48,310	47,064
	法人預金	(△ 8.0%)	18,283	△ 1,492	19,775	19,867
	合計	(1.2%)	67,716	△ 369	68,085	66,931
	流動性	(△ 3.4%)	40,109	△ 1,596	41,705	41,513
	固定性	(8.6%)	27,607	1,227	26,380	25,418
	総資金(預金+NCD)	(1.9%)	71,387	931	70,456	70,037
福岡県内預金		(1.3%)	63,713	143	63,570	62,867
熊本ファミリー銀行単体	個人預金	(△ 3.6%)	8,577	△ 107	8,684	8,898
	法人預金	(△ 14.6%)	2,475	△ 52	2,527	2,899
	合計	(△ 6.3%)	11,052	△ 159	11,211	11,797
	流動性	(△ 1.4%)	4,047	△ 24	4,071	4,105
	固定性	(△ 8.9%)	7,005	△ 135	7,140	7,691
	総資金(預金+NCD)	(△ 6.3%)	11,052	△ 159	11,211	11,797
熊本県内預金		(△ 3.9%)	10,116	△ 117	10,233	10,525
親和銀行単体	個人預金	(△ 7.3%)	13,394	△ 557	13,951	14,450
	法人預金	(△ 10.2%)	5,118	△ 268	5,386	5,702
	合計	(△ 8.1%)	18,512	△ 825	19,337	20,152
	流動性	(△ 8.7%)	8,467	△ 464	8,931	9,273
	固定性	(△ 7.7%)	10,045	△ 361	10,406	10,879
	総資金(預金+NCD)	(△ 7.6%)	19,160	△ 628	19,788	20,747
長崎県内預金		(△ 0.8%)	15,223	△ 3	15,226	15,348

3行合算

■ 個人預かり資産残高（銀行別）



■ 個人預かり資産残高（セグメント別）



福岡銀行単体

- 資産運用商品（投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債）の販売額は、19年下期比+92億円増加し、1,210億円（19年上期比△866億円、年率△41.7%）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、20/3末比△75億円減少し、9,987億円（19/9末比△344億円、年率△3.3%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 資産運用商品の販売額は、19年下期比+7億円増加し、279億円（19年上期比△4億円、年率△1.3%）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、20/3末比+157億円増加し、1,248億円（19/9末比+325億円、年率+35.2%）となりました。

親和銀行単体

- 資産運用商品の販売額は、19年下期比+36億円増加し、306億円（19年上期比△111億円、年率△26.6%）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、20/3末比+82億円増加し、2,092億円（19/9末比+20億円、年率+1.0%）となりました。

(単位：億円)

		販 売 額				
		20年上期		19年下期		19年上期
		(年率：%)	19下比		19上比	
3行合算	投資信託	(△60.4)	568	△ 102	670	△ 766
	個人年金保険	(63.7)	636	273	363	△ 25
	外貨預金	(104.3)	322	△ 130	452	294
	公共債	(△66.1)	269	94	175	△ 620
	合 計	(△35.3)	1,795	135	1,660	△ 1,116
	個人預金に対する割合					
福岡銀行単体	投資信託	(△59.2)	409	△ 32	441	△ 562
	個人年金保険	(45.4)	363	169	194	△ 55
	外貨預金	(65.4)	260	△ 129	389	232
	公共債	(△73.2)	179	85	94	△ 573
	合 計	(△41.7)	1,210	92	1,118	△ 958
	個人預金に対する割合					
熊本ファミリー銀行単体	投資信託	(△56.8)	65	3	62	△ 89
	個人年金保険	(16.8)	118	△ 14	132	31
	外貨預金	(11,344.4)	41	△ 21	62	62
	公共債	(80.2)	55	39	16	△ 14
	合 計	(△1.3)	279	7	272	△ 11
	個人預金に対する割合					
親和銀行単体	投資信託	(△66.7)	94	△ 73	167	△ 115
	個人年金保険	(309.1)	155	118	37	△ 1
	外貨預金	(23088.9)	21	20	1	1
	公共債	(△62.9)	36	△ 29	65	△ 32
	合 計	(△26.6)	306	36	270	△ 147
	個人預金に対する割合					

		残 高				
		20年9月末		20年3月末		19年9月末
		(年率：%)	20/3末比		19/9末比	
3行合算	個人年金	(△17.2)	3,956	△ 212	4,168	△ 608
	外貨預金	(18.2)	3,593	496	3,097	57
	公共債	(78.4)	466	△ 49	515	254
	個人預金	(1.2)	5,313	△ 71	5,384	135
	合 計	(0.0)	13,328	164	13,164	△ 162
	個人預金に対する割合	—	18.7%	0.1%	18.6%	△ 0.3%
福岡銀行単体	個人年金	(△18.1)	2,885	△ 149	3,034	△ 487
	外貨預金	(7.6)	2,347	251	2,096	△ 86
	公共債	(47.4)	379	△ 73	452	195
	個人預金	(0.1)	4,376	△ 104	4,480	109
	合 計	(△3.3)	9,987	△ 75	10,062	△ 269
	個人預金に対する割合	—	20.2%	△ 0.6%	20.8%	△ 1.2%
熊本ファミリー銀行単体	個人年金	(△9.2)	370	△ 4	374	△ 34
	外貨預金	(63.9)	593	107	486	124
	公共債	(2,366.8)	71	11	60	57
	個人預金	(42.3)	215	44	171	20
	合 計	(35.2)	1,248	157	1,091	168
	個人預金に対する割合	—	14.6%	2.0%	12.6%	2.2%
親和銀行単体	個人年金	(△17.4)	701	△ 58	759	△ 89
	外貨預金	(31.7)	653	137	516	20
	公共債	(1014.5)	17	14	3	1
	個人預金	(△0.7)	722	△ 11	733	6
	合 計	(1.0)	2,092	82	2,010	△ 62
	個人預金に対する割合	—	15.6%	1.2%	14.4%	0.1%

(注) 投資信託販売額は法人向け含む。その他は個人向けのみ。

(4) 有価証券の状況

① その他有価証券の評価差額

FFG連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、20/3末比▲950億円減少し、21,852億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、20/3末比▲191億円減少し、79億円となりました。

福岡銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、20/3末比▲868億円減少し、14,012億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、20/3末比▲191億円減少し、106億円となりました。

熊本ファミリー銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、20/3末比▲32億円減少し、2,197億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、20/3末比▲4億円減少し、▲22億円となりました。

親和銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、20/3末比▲54億円減少し、5,661億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、20/3末比▲5億円減少し、▲48億円となりました。

(単位:億円)

		20年9月末								20年3月末		19年9月末	
		時 価	20/3末比	19/9末比	評価差額	うち評価益	うち評価損	20/3末比	19/9末比	時価	評価差額	時価	評価差額
F F G 連 結	その他有価証券	21,852	△ 950	△ 2,687	79	433	354	△ 191	△ 417	22,802	270	24,539	496
	株式	1,046	△ 279	△ 748	205	339	134	△ 140	△ 398	1,325	345	1,794	603
	債券	15,823	134	△ 895	33	69	36	72	119	15,689	△ 39	16,718	△ 86
	国債	7,197	△ 332	△ 3,279	48	62	14	147	133	7,529	△ 99	10,476	△ 85
	地方債	424	△ 22	△ 249	0	1	1	△ 4	1	446	4	673	△ 1
	社債	8,202	487	2,632	△ 15	6	21	△ 71	△ 14	7,715	56	5,570	△ 1
	その他	4,984	△ 804	△ 1,043	△ 159	25	184	△ 122	△ 138	5,788	△ 37	6,027	△ 21
福 岡 銀 行 連 結	その他有価証券	14,012	△ 868	△ 2,715	106	390	284	△ 191	△ 406	14,880	297	16,727	512
	株式	832	△ 142	△ 388	269	359	90	△ 116	△ 354	974	385	1,220	623
	債券	8,368	40	△ 1,544	△ 20	6	25	44	69	8,328	△ 64	9,912	△ 89
	国債	2,366	△ 73	△ 3,269	△ 8	2	10	102	80	2,439	△ 110	5,635	△ 88
	地方債	220	△ 37	△ 157	△ 0	0	0	△ 2	1	257	2	377	△ 1
	社債	5,782	149	1,882	△ 12	3	15	△ 56	△ 11	5,633	44	3,900	△ 1
	その他	4,812	△ 766	△ 784	△ 144	25	168	△ 120	△ 123	5,578	△ 24	5,596	△ 21
熊 本 フ ァ ミ リ ー 銀 行 連 結	その他有価証券	2,197	△ 32	△ 68	△ 22	11	33	△ 4	△ 11	2,229	△ 18	2,265	△ 11
	株式	96	△ 25	△ 92	△ 29	0	29	△ 7	△ 28	121	△ 22	188	△ 1
	債券	2,100	△ 7	25	6	10	4	2	16	2,107	4	2,075	△ 10
	国債	1,539	89	102	6	8	2	6	14	1,450	0	1,437	△ 8
	地方債	1	△ 8	△ 6	△ 0	0	0	△ 0	△ 0	9	0	7	0
	社債	560	△ 89	△ 71	0	2	2	△ 4	1	649	4	631	△ 1
	その他	1	△ 0	△ 0	△ 0	0	0	△ 0	△ 0	1	0	1	0
親 和 銀 行 連 結	その他有価証券	5,661	△ 54	86	△ 48	33	80	△ 5	△ 96	5,715	△ 43	5,575	48
	株式	131	△ 116	△ 277	△ 39	7	46	△ 32	△ 128	247	△ 7	408	89
	債券	5,359	101	623	8	25	17	29	39	5,258	△ 21	4,736	△ 31
	国債	3,292	△ 348	△ 112	14	24	10	43	46	3,640	△ 29	3,404	△ 32
	地方債	203	23	△ 85	△ 1	0	1	△ 1	△ 1	180	0	288	△ 0
	社債	1,865	427	821	△ 5	1	6	△ 12	△ 6	1,438	7	1,044	1
	その他	171	△ 38	△ 260	△ 17	0	17	△ 2	△ 7	209	△ 15	431	△ 10

(注) 売り手と買い手の希望する価格差が著しく大きい変動利付国債については、市場価格を時価とみなせない状況であると判断し、経営者の合理的な見積もりに基づく合理的に算定された価額を時価としております。なお、市場価格を時価として算定した場合と比べて、有価証券が23,413百万円増加、繰延税金資産が5,457百万円減少、その他有価証券評価差額金が17,956百万円増加しております。

② その他有価証券の減損処理

- 当社グループの平成20年中間期における「その他有価証券」の減損処理は以下のとおりです。

※平成19年中間期の【FFG連結】には、親和銀行連結損益は含まれておりません。

(単位：億円)

	20年中間期				19年中間期
	株式	債券	その他有価証券 の減損処理額	前年同期比	
福岡銀行連結	2	21	23	▲ 32	55
熊本ファミリー銀行連結	3	—	3	▲ 4	8
親和銀行連結	2	22	24	14	10
FFG連結	4	42	46	▲ 16	62

FFG連結においては、企業結合会計（パーチェス法）に則り、熊本ファミリー銀行が保有するその他有価証券については平成19年3月末日の時価を、親和銀行が保有するその他有価証券については平成19年9月末日の時価を取得原価としております

※ その他有価証券で時価（市場価格又は合理的に算定された価額）のあるもののうち、当該有価証券の時価が取得原価に比べて著しく下落しており、時価が取得原価まで回復する見込みがあると認められないものについては、当該時価をもって中間連結貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当中間連結会計期間の損失として処理（以下「減損処理」という。）しております。

また、時価が「著しく下落した」と判断するための基準は、資産の自己査定基準において、有価証券の発行会社の区分毎に以下のとおり定めております。

破綻先、実質破綻先、破綻懸念先	時価が取得原価に比べて下落
要注意先	時価が取得原価に比べて30%以上下落
正常先	時価が取得原価に比べて50%以上下落又は、時価が取得原価に比べ30%以上50%未満下落したもので市場価格が一定水準以下で推移等

なお、破綻先とは、破産、特別清算、手形取引所における取引停止処分等、法的・形式的に経営破綻の事実が発生している発行会社、実質破綻先とは、実質的に経営破綻に陥っている発行会社、破綻懸念先とは、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる発行会社であります。要注意先とは、今後の管理に注意を要する発行会社であります。正常先とは、上記破綻先、実質破綻先、破綻懸念先及び要注意先以外の発行会社であります。

また、従来は、その他有価証券で時価のあるもののうち、時価が取得価額の30%以上下落した銘柄については、全て当該時価をもって連結貸借対照表価額とするとともに、評価差額を損失として減損処理しておりましたが、平成20年4月より減損判定基準を金融環境の変化等を踏まえ、上記基準に変更しております。この変更による有価証券の減損額への影響は、平成21年3月期第1四半期は軽微でしたが、当中間連結会計期間では12,122百万円減少しております。

③ 債務担保証券（CDO）の保有状況と減損処理

- 当社グループでは、サブプライムローンに直接関連した金融商品は保有しておりませんが、国内外企業のCDS（クレジット・デフォルト・スワップ）を裏付けとした債務担保証券（CDO）の一部は、信用市場混乱の影響を受け価格が下落したため、平成20年中間期において減損処理を行いました。
- 当社グループの債務担保証券（CDO）の保有状況は以下のとおりです。

(億円)

	銘柄数	取得原価 (減損前簿価)	20年中間期 減損額	時価＝期末簿価 (20年9月末)	評価差額 (20年9月末)
福岡銀行連結	8	130	▲ 21	89	▲ 20
熊本ファミリー銀行連結	—	—	—	—	—
親和銀行連結	6	44	▲ 16	27	▲ 1
FFG連結	14	174	▲ 37	116	▲ 21

3. 不良債権の状況

3行合算＋分割子会社

【部分直接償却後】

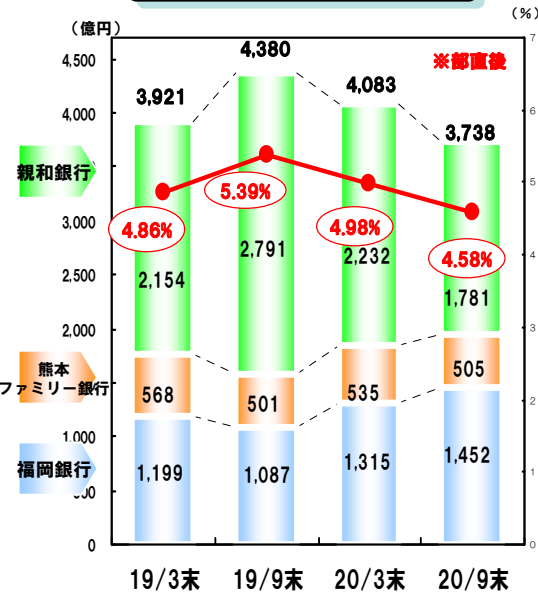
■ 開示債権残高 (各子銀行の部分直接償却後の残高を合算しております。) (単位: 億円)

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	788	222	113	566	675
危険債権	1,630	△ 353	△ 452	1,983	2,082
要管理債権	1,321	△ 213	△ 302	1,534	1,623
① 合計 (金融再生法開示債権)	3,738	△ 345	△ 642	4,083	4,380
正常債権	77,824	△ 115	949	77,939	76,875
② 総と信残高	81,562	△ 459	307	82,021	81,255
総と信に占める金融再生法開示債権 ①/②	4.58%	△ 0.40%	△ 0.81%	4.98%	5.39%

■ 保全率 【20年3月末】 (各子銀行の部分直接償却後の計数を合算しております。) (単位: 億円)

	債権額	保全等カバ	引当金	担保・保証等	保全率
金融再生法開示債権	3,738	2,896	1,390	1,507	77.5%

■ 開示不良債権残高 (3行合算)



福岡銀行単体

- 【部直前】金融再生法開示債権は、20/3末比+243億円増加し1,699億円 (19/9末比+468億円) となりました。総と信に占める開示額の割合 (不良債権比率) は、同+0.38%上昇し2.87% (同+0.71%) となりました。
- 【部直後】部分直接償却を実施した場合、金融再生法開示債権は、20/3末比+137億円増加し1,452億円 (19/9末比+365億円) 不良債権比率は、同+0.21%上昇し2.46% (同+0.55%) となります。

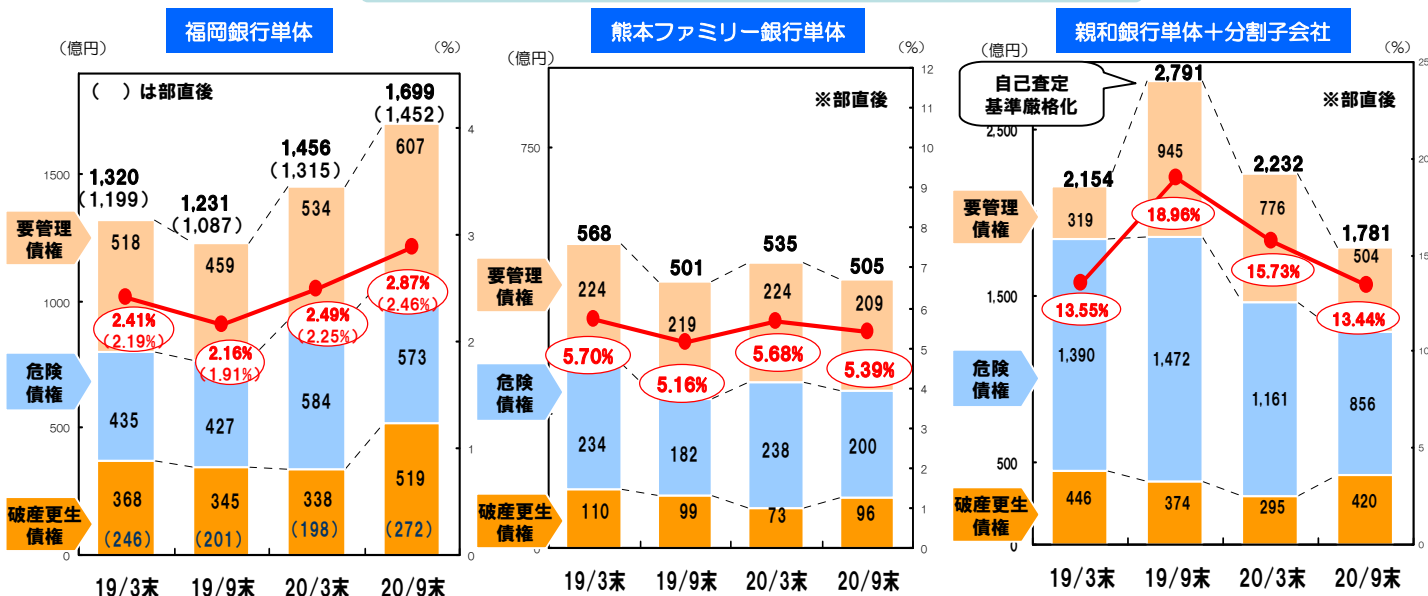
熊本ファミリー銀行単体

- 【部直後】金融再生法開示債権は、20/3末比▲30億円減少し505億円 (19/9末比+4億円) となりました。不良債権比率は、同▲0.29%減少し5.39% (同+0.23%) となりました。

親和銀行単体＋分割子会社

- 【部直後】金融再生法開示債権は、統合以降も不良債権のオフバランス化を進めた結果、20/3末比▲451億円減少し、1,781億円 (19/9末比▲1,010億円) となりました。不良債権比率は、同▲2.29%低下し、13.44% (同▲5.52%) となりました。

■ 開示不良債権残高・比率



4. 自己資本の状況

FFG連結

(第二基準)

➤ 連結自己資本比率(第二基準)は、20/3末比+0.16%上昇し8.92%、またTier I 比率も同+0.25%上昇し5.39%となりました。

(単位:億円)

【信用リスク】標準の手法 【オペリスク】粗利益配分手法	20年9月末	20/3末比 19/9末比		20年3月末	19年9月末
		20/3末比	19/9末比		
①自己資本比率⑤/⑥	8.92%	0.16%	0.53%	8.76%	8.39%
②Tier I	3,584	131	264	3,453	3,320
Tier I 比率	5.39%	0.25%	0.51%	5.14%	4.88%
③Tier II	2,463	△ 44	21	2,507	2,442
④控除項目	115	36	54	79	61
⑤自己資本 ②+③-④	5,932	51	231	5,881	5,701
⑥リスクアセット	66,492	△ 643	△ 1,416	67,135	67,908

福岡銀行連結

(国内基準)

➤ 連結自己資本比率(国内基準)は、20/3末比+0.08%上昇し9.69%、またTier I 比率も、同+0.23%上昇し8.68%となりました。

(単位:億円)

【信用リスク】基礎的内部格付手法 【オペリスク】粗利益配分手法	20年9月末	20/3末比 19/9末比		20年3月末	19年9月末
		20/3末比	19/9末比		
①自己資本比率⑤/⑥	9.69%	0.08%	0.84%	9.61%	8.85%
②Tier I	3,938	115	145	3,823	3,793
Tier I 比率	8.68%	0.23%	0.25%	8.45%	8.43%
③Tier II	1,757	△ 84	△ 201	1,841	1,958
④控除項目	1,301	△ 14	△ 469	1,315	1,770
⑤自己資本 ②+③-④	4,394	45	413	4,349	3,981
⑥リスクアセット	45,342	116	394	45,226	44,948

熊本ファミリー銀行連結

(国内基準)

➤ 連結自己資本比率(国内基準)は、20/3末比+0.40%上昇し6.54%、またTier I 比率も、同+0.26%上昇し3.84%となりました。

(単位:億円)

【信用リスク】標準の手法 【オペリスク】粗利益配分手法	20年9月末	20/3末比 19/9末比		20年3月末	19年9月末
		20/3末比	19/9末比		
①自己資本比率⑤/⑥	6.54%	0.40%	0.28%	6.14%	6.26%
②Tier I	306	14	△ 6	292	312
Tier I 比率	3.84%	0.26%	0.16%	3.58%	3.68%
③Tier II	216	6	△ 6	210	222
④控除項目	0	△ 1	△ 3	1	3
⑤自己資本 ②+③-④	521	20	△ 9	501	530
⑥リスクアセット	7,974	△ 186	△ 490	8,160	8,464

親和銀行連結

(国内基準)

➤ 連結自己資本比率(国内基準)は、20/3末比+0.89%上昇し8.94%、またTier I 比率も、同+0.74%上昇し5.19%となりました。

(単位:億円)

【信用リスク】標準の手法 【オペリスク】粗利益配分手法	20年9月末	20/3末比 19/9末比		20年3月末	19年9月末
		20/3末比	19/9末比		
①自己資本比率⑤/⑥	8.94%	0.89%	2.38%	8.05%	6.56%
②Tier I	552	43	141	509	411
Tier I 比率	5.19%	0.74%	1.91%	4.45%	3.28%
③Tier II	398	△ 12	△ 13	410	411
④控除項目	-	-	-	-	-
⑤自己資本 ②+③-④	950	30	127	920	823
⑥リスクアセット	10,623	△ 803	△ 1,920	11,426	12,543

II 平成20年度中間期 決算の概況

1. 損益の状況

【F F G連結】

※平成19年中間期の【F F G連結】には、親和銀行連結損益は含まれておりません。

(単位: 百万円)

		平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
連結粗利益	1	92,688	11,008	81,680
資金利益	2	83,934	17,435	66,499
役務取引等利益	3	14,654	1,297	13,357
特定取引利益	4	113	△216	329
その他業務利益	5	△6,013	△7,506	1,493
営業経費	6	65,894	16,860	49,034
その他経常損益	7	△7,956	△761	△7,195
① 不良債権処理額	8	14,383	8,327	6,056
一般貸倒引当金繰入額	9	△13,727	△12,066	△1,661
個別貸倒引当金繰入額	10	21,509	14,584	6,925
延滞債権等売却損	11	237	△551	788
貸出金償却	12	6,446	6,442	4
その他	13	△81	△81	—
② 特定海外債権引当勘定繰入額	14	—	16	△16
③ 利息返還損失引当金繰入額	15	7	7	—
株式等関係損益	16	7,518	8,224	△706
持分法による投資損益	17	36	△76	112
その他	18	△1,120	△558	△562
経常利益	19	18,836	△6,613	25,449
特別損益	20	△283	407	△690
④うち償却債権取立益	21	1,496	1,493	3
税金等調整前中間純利益	22	18,553	△6,206	24,759
法人税、住民税及び事業税	23	9,616	1,068	8,548
法人税等調整額	24	△3,321	△6,047	2,726
少数株主利益(△は少数株主損失)	25	1,658	884	774
中間純利益	26	10,599	△2,110	12,709
(信用コスト①+②+③-④)	27	12,894	6,858	6,036

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)
+ (特定取引収益-特定取引費用) + (その他業務収益-その他業務費用)

【参考1】連結コア業務純益

(単位: 百万円)

		平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
連結コア業務純益	28	35,871	1,333	34,538

【参考2】連結対象会社数

■平成20年中間期の連結子会社の異動状況

- ・増加1社・・・株式会社F F Gビジネスコンサルティング(平成20年8月設立)
- ・減少1社・・・親和ビジネスサービス株式会社(平成20年9月清算終了)

(単位: 社)

		平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
連結子会社数		29	0	29
持分法適用会社数		3	0	3

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

		平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
業務粗利益	1	61,452	△3,543	64,995
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	(66,900)	(511)	(66,389)
国内業務粗利益	3	62,875	726	62,149
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	4	(62,352)	(△814)	(63,166)
資金利益	5	52,848	1,059	51,789
役務取引等利益	6	9,150	△1,602	10,752
特定取引利益	7	93	△236	329
その他業務利益	8	782	1,503	△721
(うち国債等債券損益)	9	(523)	(1,539)	(△1,016)
国際業務粗利益	10	△1,422	△4,267	2,845
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	11	(4,547)	(1,325)	(3,222)
資金利益	12	3,273	1,450	1,823
役務取引等利益	13	162	△1	163
特定取引利益	14	—	—	—
その他業務利益	15	△4,858	△5,716	858
(うち国債等債券損益)	16	(△5,970)	(△5,593)	(△377)
経費(除く臨時処理分)	17	37,145	△132	37,277
人件費	18	16,423	△37	16,460
物件費	19	17,792	△663	18,455
税金	20	2,929	568	2,361
(対前年同期比増減率)		(△12.3%)		(△2.4%)
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	21	24,307	△3,410	27,717
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	22	(29,754)	(643)	(29,111)
① 一般貸倒引当金繰入額	23	3,267	5,001	△1,734
(対前年同期比増減率)		(△28.6%)		(3.7%)
業務純益	24	21,039	△8,413	29,452
うち国債等債券損益(5勘定戻)	25	(△5,447)	(△4,054)	(△1,393)
臨時損益等	26	△4,706	16,484	△21,190
② 不良債権処理額	27	10,454	7,589	2,865
貸出金償却	28	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	29	10,559	7,696	2,863
延滞債権等売却損	30	—	△1	1
その他の偶発損失引当金繰入額	31	△104	△104	—
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	32	—	16	△16
株式等関係損益	33	6,894	24,965	△18,071
株式等売却益	34	7,109	1,670	5,439
株式等売却損	35	15	△17,988	18,003
株式等償却	36	199	△5,308	5,507
その他臨時損益等	37	△1,145	△875	△270
経常利益	38	16,333	8,072	8,261
特別損益	39	△844	△167	△677
うち固定資産処分損益	40	△827	△483	△344
固定資産処分益	41	85	29	56
固定資産処分損	42	913	513	400
④うち貸倒引当金純取崩益	43	—	—	—
うち固定資産減損損失	44	16	△316	332
税引前中間純利益	45	15,489	7,905	7,584
法人税、住民税及び事業税	46	8,846	7,915	931
法人税等調整額	47	△2,620	△4,574	1,954
中間純利益	48	9,262	4,565	4,697
(信用コスト①+②+③)	49	(13,722)	(12,609)	(1,113)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

		平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
業務粗利益	1	11,982	△840	12,822
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	(11,702)	(△1,111)	(12,813)
国内業務粗利益	3	11,739	△1,063	12,802
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	4	(11,460)	(△1,333)	(12,793)
資金利益	5	11,414	△668	12,082
役務取引等利益	6	1,113	△96	1,209
その他業務利益	7	△789	△299	△490
(うち国債等債券損益)	8	(279)	(271)	(8)
国際業務粗利益	9	242	222	20
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	10	(242)	(222)	(20)
資金利益	11	45	51	△6
役務取引等利益	12	8	1	7
その他業務利益	13	188	169	19
(うち国債等債券損益)	14	(—)	(—)	(—)
経費(除く臨時処理分)	15	8,142	△1,001	9,143
人件費	16	4,038	△553	4,591
物件費	17	3,789	△297	4,086
税金	18	314	△151	465
(対前年同期比増減率)		(4.4%)		(△34.3%)
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	19	3,840	161	3,679
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	20	(3,560)	(△110)	(3,670)
① 一般貸倒引当金繰入額	21	△643	△444	△199
(対前年同期比増減率)		(15.6%)		(1054.2%)
業務純益	22	4,483	605	3,878
うち国債等債券損益(5勘定戻)	23	(279)	(271)	(8)
臨時損益等	24	△2,164	2,913	△5,077
② 不良債権処理額	25	2,021	△1,651	3,672
貸出金償却	26	—	△1	1
個別貸倒引当金純繰入額	27	2,021	△863	2,884
延滞債権等売却損	28	—	△786	786
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	29	—	—	—
株式等関係損益	30	282	990	△708
株式等売却益	31	630	501	129
株式等売却損	32	0	△85	85
株式等償却	33	347	△405	752
その他臨時損益等	34	△426	270	△696
経常利益	35	2,318	3,516	△1,198
特別損益	36	△133	△195	62
うち固定資産処分損益	37	△33	△25	△8
固定資産処分益	38	22	22	0
固定資産処分損	39	55	47	8
④うち貸倒引当金純取崩益	40	—	—	—
⑤うち償却債権取立益	41	105	103	2
うち固定資産減損損失	42	99	99	—
税引前中間純利益	43	2,184	3,319	△1,135
法人税、住民税及び事業税	44	9	△2	11
法人税等調整額	45	△4	△816	812
中間純利益	46	2,179	4,138	△1,959
(信用コスト①+②+③-④-⑤)	47	(1,272)	(△2,198)	(3,470)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

		平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
業務粗利益	1	14,920	△5,022	19,942
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	(17,872)	(△2,315)	(20,187)
国内業務粗利益	3	17,647	△2,077	19,724
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	4	(17,554)	(△2,410)	(19,964)
資金利益	5	15,646	△2,818	18,464
役務取引等利益	6	2,492	△533	3,025
その他業務利益	7	△491	1,274	△1,765
(うち国債等債券損益)	8	(92)	(331)	(△239)
国際業務粗利益	9	△2,726	△2,943	217
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	10	(318)	(95)	(223)
資金利益	11	140	105	35
役務取引等利益	12	19	△3	22
その他業務利益	13	△2,886	△3,046	160
(うち国債等債券損益)	14	(△3,044)	(△3,039)	(△5)
経費(除く臨時処理分)	15	13,472	△614	14,086
人件費	16	6,399	239	6,160
物件費	17	6,167	△640	6,807
税金	18	905	△212	1,117
(対前年同期比増減率)		(△75.3%)		(△41.5%)
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	19	1,448	△4,407	5,855
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	20	(4,400)	(△1,701)	(6,101)
① 一般貸倒引当金繰入額	21	—	△34,269	34,269
(対前年同期比増減率)		(105.1%)		(△248.8%)
業務純益	22	1,448	29,861	△28,413
うち国債等債券損益(5勘定戻)	23	(△2,952)	(△2,707)	(△245)
臨時損益等	24	△5,898	57,913	△63,811
② 不良債権処理額	25	6,656	△53,950	60,606
貸出金償却	26	6,419	6,419	—
個別貸倒引当金純繰入額	27	—	△56,465	56,465
投資損失引当金純繰入額	28	—	△2,378	2,378
延滞債権等売却損	29	237	△1,526	1,763
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	30	—	—	—
株式等関係損益	31	1,447	2,522	△1,075
株式等売却益	32	2,242	2,215	27
株式等売却損	33	594	471	123
株式等償却	34	200	△779	979
その他臨時損益等	35	△688	1,441	△2,129
経常利益	36	△4,449	87,775	△92,224
特別損益	37	9,690	15,537	△5,847
うち固定資産処分損益	38	△328	△83	△245
固定資産処分益	39	190	177	13
固定資産処分損	40	518	260	258
④うち貸倒引当金純取崩益	41	8,718	8,718	—
⑤うち投資損失引当金純取崩益	42	198	198	—
⑥うち償却債権取立益	43	1,272	482	790
うち固定資産減損損失	44	201	△6,191	6,392
税引前中間純利益	45	5,240	103,312	△98,072
法人税、住民税及び事業税	46	70	138	△68
法人税等調整額	47	△287	△2,838	2,551
中間純利益	48	5,457	106,012	△100,555
(信用コスト①+②+③-④-⑤-⑥)	49	(△3,532)	(△97,617)	(94,085)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【親和銀行単体】

(参 考)

当中間期は一般貸倒引当金、個別貸倒引当金等の取崩額が繰入額を上回っているため、相殺後の金額を特別利益に計上しております。その結果、当中間期は△44億円の経常損失を計上しましたが、以下の右図のとおり、前中間期と同様の勘定科目で処理を行った場合、当中間期は45億円の経常利益となります。

【単体】

(単位:百万円)

		20年中間期	20年中間期	19年中間期比	19年中間期
実質業務純益(一般貸倒繰入前)	19	1,448	1,448	△4,407	5,855
〔除く国債等債券損益(5勘定戻)〕	20	(4,400)	(4,400)	(△1,701)	(6,101)
① 一般貸倒引当金繰入額(△戻入額)	21	—	△ 16,198	△50,467	34,269
(対前年同期比増減率)		(105.1%)	(162.1%)		(△248.8%)
業務純益	22	1,448	17,646	46,059	△28,413
うち国債等債券損益(5勘定戻)	23	(△2,952)	(△2,952)	(△2,707)	(△245)
臨時損益等	24	△ 5,898	△13,179	50,632	△63,811
② 不良債権処理額	25	6,656	13,938	△46,668	60,606
貸出金償却	26	6,419	6,419	6,419	—
個別貸倒引当金繰入額	27	—	7,480	△48,985	56,465
投資損失引当金繰入額	28	—	△198	△2,576	2,378
延滞債権等売却損	29	237	237	△1,526	1,763
③ 特定海外債権引当勘定繰入額	30	—	—	—	—
株式等関係損益	31	1,447	1,447	2,522	△1,075
株式等売却益	32	2,242	2,242	2,215	27
株式等売却損	33	594	594	471	123
株式等償却	34	200	200	△779	979
その他臨時損益等	35	△ 688	△688	1,441	△2,129
経常利益	36	△ 4,449	4,467	96,691	△92,224
特別損益	37	9,690	773	6,620	△5,847
うち固定資産処分損益	38	△ 328	△328	△83	△245
固定資産処分益	39	190	190	177	13
固定資産処分損	40	518	518	260	258
④うち貸倒引当金純取崩益	41	8,718	—	—	—
⑤うち投資損失引当金純取崩益	42	198	—	—	—
⑥うち償却債権取立益	43	1,272	1,272	482	790
うち固定資産減損損失	44	201	201	△6,191	6,392
税引前中間純利益	45	5,240	5,240	103,312	△98,072
法人税、住民税及び事業税	46	70	70	138	△68
法人税等調整額	47	△ 287	△287	△2,838	2,551
中間純利益	48	5,457	5,457	106,012	△100,555
(信用コスト①+②+③-④-⑤-⑥)	49	(△3,532)	(△3,532)	(△97,617)	(94,085)

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.業務純益

【3行合算】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)実質業務純益(一般貸倒繰入前)	29,595	△7,658	37,253
職員(平残)一人当たり(千円)	4,396	△1,056	5,452
(2)業務純益	26,970	22,053	4,917
職員(平残)一人当たり(千円)	4,006	3,287	719

(注)職員数平残＝嘱託及び出向者を除く従業員数の期中平均(月末従業員数合計÷6)

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)実質業務純益(一般貸倒繰入前)	24,307	△3,410	27,717
職員(平残)一人当たり(千円)	6,297	△893	7,190
(2)業務純益	21,039	△8,413	29,452
職員(平残)一人当たり(千円)	5,450	△2,190	7,640

(注)職員数平残＝嘱託及び出向者を除く従業員数の期中平均(月末従業員数合計÷6)

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)実質業務純益(一般貸倒繰入前)	3,840	161	3,679
職員(平残)一人当たり(千円)	3,468	169	3,299
(2)業務純益	4,483	605	3,878
職員(平残)一人当たり(千円)	4,050	572	3,478

(注)職員数平残＝嘱託及び出向者を除く従業員数の期中平均(月末従業員数合計÷6)

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)実質業務純益(一般貸倒繰入前)	1,448	△4,407	5,855
職員(平残)一人当たり(千円)	820	△2,324	3,144
(2)業務純益	1,448	29,861	△28,413
職員(平残)一人当たり(千円)	820	16,079	△15,259

(注)職員数平残＝嘱託及び出向者を除く従業員数の期中平均(月末従業員数合計÷6)

3.資金平残

【3行合算】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
資金運用勘定	11,146,008	136,768	11,009,240
うち貸出金	8,008,194	205,245	7,802,949
うち有価証券	2,483,045	△ 205,116	2,688,161
資金調達勘定	10,933,545	131,878	10,801,667
うち預金等	10,285,933	△ 1,483	10,287,416
うち外部負債	411,709	167,887	243,822

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
資金運用勘定	7,872,365	284,185	7,588,180
うち貸出金	5,743,865	378,669	5,365,196
うち有価証券	1,648,675	△ 214,026	1,862,701
資金調達勘定	7,739,030	337,513	7,401,517
うち預金等	7,199,770	230,627	6,969,143
うち外部負債	386,565	175,355	211,210

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
資金運用勘定	1,171,534	△ 55,315	1,226,849
うち貸出金	923,921	△ 28,327	952,248
うち有価証券	230,595	△ 4,709	235,304
資金調達勘定	1,197,620	△ 45,640	1,243,260
うち預金等	1,116,196	△ 71,423	1,187,619
うち外部負債	13,241	△ 6,521	19,762

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
資金運用勘定	2,102,109	△ 92,101	2,194,210
うち貸出金	1,340,407	△ 145,097	1,485,504
うち有価証券	603,774	13,619	590,155
資金調達勘定	1,996,894	△ 159,994	2,156,888
うち預金等	1,969,967	△ 160,686	2,130,653
うち外部負債	11,902	△ 946	12,848

【参考】資金平残（国内部門）

【3行合算】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
資金運用勘定	10,943,738	204,913	10,738,825
うち貸出金	7,951,708	181,225	7,770,483
うち有価証券	1,913,422	△ 202,862	2,116,284
資金調達勘定	10,735,009	174,059	10,560,950
うち預金等	10,220,182	△ 21,898	10,242,080
うち外部負債	349,262	169,751	179,511

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
資金運用勘定	7,680,679	360,420	7,320,259
うち貸出金	5,689,379	356,649	5,332,730
うち有価証券	1,101,213	△ 222,817	1,324,030
資金調達勘定	7,551,330	388,551	7,162,779
うち預金等	7,144,004	218,939	6,925,065
うち外部負債	324,936	178,034	146,902

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
資金運用勘定	1,162,927	△ 63,596	1,226,523
うち貸出金	923,921	△ 28,327	952,248
うち有価証券	230,595	△ 4,709	235,304
資金調達勘定	1,188,973	△ 53,923	1,242,896
うち預金等	1,107,557	△ 79,705	1,187,262
うち外部負債	13,241	△ 6,519	19,760

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
資金運用勘定	2,100,131	△ 91,911	2,192,042
うち貸出金	1,338,407	△ 147,097	1,485,504
うち有価証券	581,613	24,665	556,948
資金調達勘定	1,994,705	△ 160,570	2,155,275
うち預金等	1,968,620	△ 161,132	2,129,752
うち外部負債	11,084	△ 1,764	12,848

4. 利鞘

【3行合算】

(単位: %)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)資金運用利回	1.98	△0.04	2.02
(ア)貸出金利回	2.16	△0.04	2.20
(イ)有価証券利回	1.54	△0.10	1.64
(2)資金調達原価	1.57	△0.05	1.62
(ア)預金等利回	0.31	0.04	0.27
(イ)外部負債利回	1.28	△0.39	1.67
(3)総資金利鞘 (1)－(2)	0.41	0.01	0.40

【福岡銀行単体】

(単位: %)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)資金運用利回	1.94	△0.01	1.95
(ア)貸出金利回	2.02	0.00	2.02
(イ)有価証券利回	1.77	△0.09	1.86
(2)資金調達原価	1.48	△0.08	1.56
(ア)預金等利回	0.30	0.05	0.25
(イ)外部負債利回	1.22	△0.43	1.65
(3)総資金利鞘 (1)－(2)	0.46	0.07	0.39

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位: %)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)資金運用利回	2.44	0.04	2.40
(ア)貸出金利回	2.66	△0.06	2.72
(イ)有価証券利回	1.57	0.19	1.38
(2)資金調達原価	1.83	△0.07	1.90
(ア)預金等利回	0.35	0.03	0.32
(イ)外部負債利回	2.29	0.55	1.74
(3)総資金利鞘 (1)－(2)	0.61	0.11	0.50

【親和銀行単体】

(単位: %)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)資金運用利回	1.87	△0.17	2.04
(ア)貸出金利回	2.42	△0.08	2.50
(イ)有価証券利回	0.92	△0.15	1.07
(2)資金調達原価	1.74	0.07	1.67
(ア)預金等利回	0.33	0.05	0.28
(イ)外部負債利回	2.26	0.35	1.91
(3)総資金利鞘 (1)－(2)	0.13	△0.24	0.37

【参考】利鞘（国内部門）

【3行合算】

(単位: %)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)資金運用利回	1.83	△0.01	1.84
(ア)貸出金利回	2.16	△0.04	2.20
(イ)有価証券利回	1.09	0.04	1.05
(2)資金調達原価	1.45	0.01	1.44
(ア)預金等利回	0.30	0.05	0.25
(イ)外部負債利回	0.94	△0.10	1.04
(3)総資金利鞘 (1)－(2)	0.38	△0.02	0.40

【福岡銀行単体】

(単位: %)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)資金運用利回	1.73	0.03	1.70
(ア)貸出金利回	2.02	0.00	2.02
(イ)有価証券利回	1.10	0.09	1.01
(2)資金調達原価	1.33	0.02	1.31
(ア)預金等利回	0.28	0.05	0.23
(イ)外部負債利回	0.84	△0.03	0.87
(3)総資金利鞘 (1)－(2)	0.40	0.01	0.39

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位: %)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)資金運用利回	2.43	0.03	2.40
(ア)貸出金利回	2.66	△0.06	2.72
(イ)有価証券利回	1.57	0.19	1.38
(2)資金調達原価	1.81	△0.08	1.89
(ア)預金等利回	0.33	0.02	0.31
(イ)外部負債利回	2.29	0.55	1.74
(3)総資金利鞘 (1)－(2)	0.62	0.11	0.51

【親和銀行単体】

(単位: %)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
(1)資金運用利回	1.85	△0.16	2.01
(ア)貸出金利回	2.42	△0.08	2.50
(イ)有価証券利回	0.88	△0.12	1.00
(2)資金調達原価	1.72	0.10	1.62
(ア)預金等利回	0.33	0.05	0.28
(イ)外部負債利回	2.20	0.29	1.91
(3)総資金利鞘 (1)－(2)	0.13	△0.26	0.39

5. 有価証券関係損益

(1) 国債等債券損益

【F F G連結】 ※平成19年中間期の【FFG連結】には、親和銀行連結損益は含まれておりません。 (単位: 百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
国債等債券損益	△7,999	△6,615	△1,384
売却益	2,523	△1,184	3,707
償還益	—	△8	8
売却損	5,899	799	5,100
償還損	421	421	—
償 却	4,202	4,202	—

【3行合算】

(単位: 百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
国債等債券損益	△8,120	△6,491	△1,629
売却益	2,503	△1,440	3,943
償還益	—	△8	8
売却損	5,942	360	5,582
償還損	443	443	—
償 却	4,237	4,237	—

【福岡銀行単体】

(単位: 百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
国債等債券損益	△5,447	△4,054	△1,393
売却益	2,008	△1,699	3,707
償還益	—	—	—
売却損	4,965	△135	5,100
償還損	416	416	—
償 却	2,073	2,073	—

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位: 百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
国債等債券損益	279	271	8
売却益	316	316	—
償還益	—	△8	8
売却損	35	35	—
償還損	1	1	—
償 却	—	—	—

【親和銀行単体】

(単位: 百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
国債等債券損益	△2,952	△2,707	△245
売却益	178	△57	235
償還益	—	—	—
売却損	941	460	481
償還損	25	25	—
償 却	2,164	2,164	—

(2) 株式等関係損益

【F F G連結】 ※平成19年中間期の【FFG連結】には、親和銀行連結損益は含まれておりません。

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
株式等関係損益	7,518	8,224	△706
売却益	8,354	2,908	5,446
売却損	444	444	0
償却	392	△5,760	6,152

【3行合算】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
株式等関係損益	8,624	28,479	△19,855
売却益	9,982	4,386	5,596
売却損	610	△17,601	18,211
償却	747	△6,492	7,239

(注)平成19年度中間期株式等関係損益の売却損18,211百万円のうち、18,088百万円は、福岡銀行及び熊本ファミリー銀行が保有していたFFG株式の売却損であります。なお、当売却損は、FFG連結決算上資本取引の対象となり損益が認識されないため、FFG連結損益に与える影響はありません。

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
株式等関係損益	6,894	24,965	△18,071
売却益	7,109	1,670	5,439
売却損	15	△17,988	18,003
償却	199	△5,308	5,507

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
株式等関係損益	282	990	△708
売却益	630	501	129
売却損	0	△85	85
償却	347	△405	752

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
株式等関係損益	1,447	2,522	△1,075
売却益	2,242	2,215	27
売却損	594	471	123
償却	200	△779	979

6.自己資本比率及び繰延税金資産

【F F G連結】

ア. 自己資本比率

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは標準的手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	20年9月末	20／3末比		20年3月末	19年9月末
		20／3末比	19／9末比		
①自己資本比率(%) ⑤／⑥	8.92	0.16	0.53	8.76	8.39
②Tier I (百万円)	358,431	13,057	26,395	345,374	332,036
Tier I 比率(%)	5.39	0.25	0.51	5.14	4.88
③Tier II (百万円)	246,388	△4,371	2,101	250,759	244,287
Tier II 比率(%)	3.70	△0.03	0.11	3.73	3.59
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	41,557	△402	△885	41,959	42,442
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	35,690	△422	△136	36,112	35,826
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	169,140	△3,547	3,122	172,687	166,018
④控除項目(百万円)	11,547	3,609	5,421	7,938	6,126
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	50	0	△269	50	319
うち金融業務を営む関連法人等への出資	2,540	45	64	2,495	2,476
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	8,957	3,565	5,627	5,392	3,330
⑤自己資本②+③-④(百万円)	593,272	5,077	23,075	588,195	570,197
⑥リスクアセット(百万円)	6,649,235	△64,285	△141,590	6,713,520	6,790,825
自己資本に含まれる繰延税金資産	73,732	2,943	3,585	70,789	70,147

(注) 自己資本に含まれる繰延税金資産は以下イ. における繰延税金資産の純額⑤+その他有価証券評価差額に係る繰延税金負債(α)-繰延ヘッジ損益(β)

イ. 繰延税金資産

(単位: 百万円)

	20年9月末	20／3末比		20年3月末	19年9月末
		20／3末比	19／9末比		
貸倒引当金	108,472	△ 9,727	△ 34,611	118,199	143,083
税務上の繰越欠損金	91,044	11,349	41,344	79,695	49,700
退職給付引当金	11,433	△ 728	△ 1,448	12,161	12,881
有価証券償却	11,317	△ 1,368	2,062	12,685	9,255
減価償却	3,188	△ 239	△ 150	3,427	3,338
繰延ヘッジ損益(β)	888	△ 1,816	769	2,704	119
その他	8,963	2,218	6,819	6,745	2,144
①繰延税金資産小計	235,307	△ 312	14,783	235,619	220,524
②評価性引当額	148,267	△ 2,513	9,948	150,780	138,319
③繰延税金資産合計①-②	87,040	2,202	4,836	84,838	82,204
その他有価証券評価差額(α)	5,276	△ 5,134	△ 13,160	10,410	18,436
退職給付信託設定益	11,880	1,168	2,488	10,712	9,392
固定資産圧縮積立金	533	0	0	533	533
その他	5	△ 94	△ 2,007	99	2,012
④繰延税金負債	17,695	△ 4,060	△ 12,679	21,755	30,374
⑤繰延税金資産の純額 ③-④	69,344	6,262	17,514	63,082	51,830

【福岡銀行連結】

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
①自己資本比率(%) ⑤／⑥	9.69	0.08	0.84	9.61	8.85
②Tier I (百万円)	393,842	11,487	14,489	382,355	379,353
Tier I 比率(%)	8.68	0.23	0.25	8.45	8.43
うち期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額(△)	16,241	△567	3,595	16,808	12,646
③Tier II (百万円)	175,780	△8,415	△20,047	184,195	195,827
Tier II 比率(%)	3.87	△0.20	△0.48	4.07	4.35
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	89	6	89	83	0
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	35,690	△422	△136	36,112	35,826
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	140,000	△8,000	△20,000	148,000	160,000
④控除項目(百万円)	130,161	△1,435	△46,878	131,596	177,039
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	105,000	0	△50,000	105,000	155,000
うち金融業務を営む関連法人等への出資	2,535	44	61	2,491	2,474
うち期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額	16,241	△567	3,595	16,808	12,646
うち株式等エクスポージャーの期待損失額(PD/LGD方式適用分)	26	1	△2,283	25	2,309
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	300	△204	54	504	246
⑤自己資本②＋③－④(百万円)	439,461	4,507	41,320	434,954	398,141
⑥リスクアセット(百万円)	4,534,272	11,583	39,414	4,522,689	4,494,858
自己資本に含まれる繰延税金資産	36,838	2,301	3,968	34,537	32,870

【福岡銀行単体】

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
①自己資本比率(%) ⑤／⑥	9.56	0.08	0.83	9.48	8.73
②Tier I (百万円)	385,020	10,556	13,935	374,464	371,085
Tier I 比率(%)	8.56	0.24	0.25	8.32	8.31
うち期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額(△)	19,118	△731	3,732	19,849	15,386
③Tier II (百万円)	175,690	△8,422	△20,136	184,112	195,826
Tier II 比率(%)	3.90	△0.19	△0.48	4.09	4.38
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	—	—	—	—	—
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	35,690	△422	△136	36,112	35,826
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	140,000	△8,000	△20,000	148,000	160,000
④控除項目(百万円)	130,546	△1,642	△46,764	132,188	177,310
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	105,000	0	△50,000	105,000	155,000
うち期待損失額が適格引当金を上回る額の50%相当額	19,118	△731	3,732	19,849	15,386
うち株式等エクスポージャーの期待損失額(PD/LGD方式適用分)	69	2	△2,246	67	2,315
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	300	△204	54	504	246
⑤自己資本②＋③－④(百万円)	430,164	3,776	40,563	426,388	389,601
⑥リスクアセット(百万円)	4,495,161	△375	32,703	4,495,536	4,462,458
自己資本に含まれる繰延税金資産	33,307	2,243	4,818	31,064	28,489

【熊本ファミリー銀行連結】

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは標準的手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	20年9月末			20年3月末	19年9月末
		20／3末比	19／9末比		
①自己資本比率(%) ⑤／⑥	6.54	0.40	0.28	6.14	6.26
②Tier I (百万円)	30,654	1,421	△551	29,233	31,205
Tier I 比率(%)	3.84	0.26	0.16	3.58	3.68
③Tier II (百万円)	21,626	590	△593	21,036	22,219
Tier II 比率(%)	2.71	0.14	0.09	2.57	2.62
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	4,984	△116	△306	5,100	5,290
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	1,314	△5	△12	1,319	1,326
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	15,327	711	△275	14,616	15,602
④控除項目(百万円)	98	△3	△292	101	390
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	50	0	△269	50	319
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	48	△3	△23	51	71
⑤自己資本②＋③－④(百万円)	52,182	2,015	△852	50,167	53,034
⑥リスクアセット(百万円)	797,471	△18,563	△48,973	816,034	846,444
自己資本に含まれる繰延税金資産	21,970	195	△4,426	21,775	26,396

【熊本ファミリー銀行単体】

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは標準的手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	20年9月末			20年3月末	19年9月末
		20／3末比	19／9末比		
①自己資本比率(%) ⑤／⑥	6.48	0.43	0.35	6.05	6.13
②Tier I (百万円)	30,322	1,600	△172	28,722	30,494
Tier I 比率(%)	3.80	0.28	0.20	3.52	3.60
③Tier II (百万円)	21,461	684	△404	20,777	21,865
Tier II 比率(%)	2.69	0.15	0.11	2.54	2.58
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	4,984	△113	△308	5,097	5,292
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	1,314	△5	△12	1,319	1,326
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	15,161	800	△86	14,361	15,247
④控除項目(百万円)	98	△3	△292	101	390
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	50	0	△269	50	319
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	48	△3	△23	51	71
⑤自己資本②＋③－④(百万円)	51,685	2,287	△285	49,398	51,970
⑥リスクアセット(百万円)	797,573	△18,027	△49,178	815,600	846,751
自己資本に含まれる繰延税金資産	21,943	—	△4,480	21,943	26,423

【親和銀行連結】

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは標準的手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	20年9月末			20年3月末	19年9月末
		20／3末比	19／9末比		
①自己資本比率(%) ⑤／⑥	8.94	0.89	2.38	8.05	6.56
②Tier I (百万円)	55,204	4,281	14,038	50,923	41,166
Tier I 比率(%)	5.19	0.74	1.91	4.45	3.28
③Tier II (百万円)	39,805	△1,276	△1,361	41,081	41,166
Tier II 比率(%)	3.74	0.15	0.46	3.59	3.28
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	6,639	△502	△1,200	7,141	7,839
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	13,525	△314	△937	13,839	14,462
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	19,640	△460	△943	20,100	20,583
④控除項目(百万円)	－	－	－	－	－
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	－	－	－	－	－
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	－	－	－	－	－
⑤自己資本②＋③－④(百万円)	95,010	3,006	12,677	92,004	82,333
⑥リスクアセット(百万円)	1,062,352	△80,290	△191,962	1,142,642	1,254,314
自己資本に含まれる繰延税金資産	22,372	△1,804	△149	24,176	22,521

【親和銀行単体】

(注) 自己資本比率の算出にあたっては、信用リスクは標準的手法、オペレーショナル・リスクは粗利益配分手法を適用しております。

	20年9月末			20年3月末	19年9月末
		20／3末比	19／9末比		
①自己資本比率(%) ⑤／⑥	8.30	0.90	2.81	7.40	5.49
②Tier I (百万円)	48,858	4,913	14,217	43,945	34,641
Tier I 比率(%)	4.57	0.75	1.83	3.82	2.74
③Tier II (百万円)	39,836	△1,288	5,195	41,124	34,641
Tier II 比率(%)	3.73	0.16	0.99	3.57	2.74
(ア)うち一般貸倒引当金の自己資本への算入額	6,671	△513	△1,204	7,184	7,875
(イ)うち自己資本に計上された土地再評価差額金	13,525	△314	△937	13,839	14,462
(ウ)うち劣後ローン(債券)の自己資本への算入額	19,640	△460	2,320	20,100	17,320
④控除項目(百万円)	－	－	－	－	－
うち他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	－	－	－	－	－
うち証券化エクスポージャー(自己資本控除分)	－	－	－	－	－
⑤自己資本②＋③－④(百万円)	88,695	3,626	19,412	85,069	69,283
⑥リスクアセット(百万円)	1,067,404	△82,104	△192,643	1,149,508	1,260,047
自己資本に含まれる繰延税金資産	22,422	△1,846	0	24,268	22,422

7. ROE

【FFG連結】 ※平成19年中間期の【FFG連結】には、親和銀行連結損益は含まれておりません。（単位：%）

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
実質業務純益ベース （一般貸倒繰入前）	10.89	△2.37	13.26
業務純益ベース	16.26	2.33	13.93
中間純利益ベース	4.14	△0.94	5.08

（注）算式 $\frac{（実質）業務純益または中間純利益}{（期首純資産＋中間期末純資産）\div 2} \times 365 \div 183$

【3行合算】

（単位：%）

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
実質業務純益ベース （一般貸倒繰入前）	12.20	△2.60	14.80
業務純益ベース	11.12	9.17	1.95
中間純利益ベース	6.97	45.83	△38.86

（注）算式 $\frac{（実質）業務純益または中間純利益}{（期首純資産＋中間期末純資産）\div 2} \times 365 \div 183$

【福岡銀行単体】

（単位：%）

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
実質業務純益ベース （一般貸倒繰入前）	11.84	△0.96	12.80
業務純益ベース	10.25	△3.36	13.61
中間純利益ベース	4.51	2.34	2.17

（注）算式 $\frac{（実質）業務純益または中間純利益}{（期首純資産＋中間期末純資産）\div 2} \times 365 \div 183$

【熊本ファミリー銀行単体】

（単位：%）

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
実質業務純益ベース （一般貸倒繰入前）	138.63	48.73	89.90
業務純益ベース	161.85	67.07	94.78
中間純利益ベース	78.68	126.55	△47.87

（注）算式 $\frac{（実質）業務純益または中間純利益}{（期首純資産＋中間期末純資産）\div 2} \times 365 \div 183$

【親和銀行単体】

（単位：%）

	平成20年中間期	19年中間期比	平成19年中間期
実質業務純益ベース （一般貸倒繰入前）	4.19	△14.57	18.76
業務純益ベース	4.19	95.22	△91.03
中間純利益ベース	15.81	337.98	△322.17

（注）算式 $\frac{（実質）業務純益または中間純利益}{（期首純資産＋中間期末純資産）\div 2} \times 365 \div 183$

8. 役職員数

【F F G単体】

(単位:人)

	20年9月末	20年3月末比	20年3月末	19年9月末比	19年9月末
役 員 数	15	△1	16	3	13
執行役員数	4	0	4	4	0
職 員 数	155	△44	199	122	77
合 計	174	△45	219	129	90

(注1) 上記役員は、子銀行の役員を兼務しております。

(注2) 職員数は、専担者を記載しております。(子銀行との兼務者は除いております。)

【3行合算】

(単位:人)

	平成20年9月末	20年3月末比	平成20年3月末	19年9月末比	平成19年9月末
役 員 数	32	0	32	△2	34
執行役員数	28	0	28	10	18
職 員 数	6,650	150	6,500	△239	6,739
合 計	6,710	150	6,560	△231	6,791

【福岡銀行単体】

(単位:人)

	平成20年9月末	20年3月末比	平成20年3月末	19年9月末比	平成19年9月末
役 員 数	13	0	13	0	13
執行役員数	12	0	12	0	12
職 員 数	3,843	184	3,659	△145	3,804
合 計	3,868	184	3,684	△145	3,829

(注1) 20年9月末および20年3月末の職員数は、行外への出向者を除き、行外から受け入れた出向者を含んでおります。また嘱託者及び海外現地採用者は除いております。

(注2) 19年9月末の職員数については、出向者、嘱託者及び海外現地採用者を除いております。

以下熊本ファミリー銀行及び親和銀行についても、同様であります。

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:人)

	平成20年9月末	20年3月末比	平成20年3月末	19年9月末比	平成19年9月末
役 員 数	10	0	10	0	10
執行役員数	7	0	7	1	6
職 員 数	1,094	16	1,078	△17	1,095
合 計	1,111	16	1,095	△16	1,111

【親和銀行単体】

(単位:人)

	平成20年9月末	20年3月末比	平成20年3月末	19年9月末比	平成19年9月末
役 員 数	9	0	9	△2	11
執行役員数	9	0	9	9	—
職 員 数	1,713	△50	1,763	△77	1,840
合 計	1,731	△50	1,781	△70	1,851

9. 拠点数

【3行合算】

(単位: 店)

	平成20年9月末	20年3月末比	平成20年3月末	19年9月末比	平成19年9月末
国内本支店(含む出張所)	351	△17	368	△15	383
福岡県	(160)	(△6)	(166)	(△10)	(176)
熊本県	(69)	(△1)	(70)	(0)	(70)
長崎県	(98)	(△7)	(105)	(△2)	(107)
その他九州	(18)	(△1)	(19)	(△1)	(20)
九州外	(6)	(△2)	(8)	(△2)	(10)
海外駐在員事務所	3	△1	4	0	4
合 計	354	△18	372	△15	387

【福岡銀行単体】

(単位: 店)

	平成20年9月末	20年3月末比	平成20年3月末	19年9月末比	平成19年9月末
国内本支店(含む出張所)	168	0	168	1	167
福岡県	(151)	(0)	(151)	(1)	(150)
熊本県	(1)	(0)	(1)	(0)	(1)
長崎県	(2)	(0)	(2)	(0)	(2)
その他九州	(9)	(0)	(9)	(0)	(9)
九州外	(5)	(0)	(5)	(0)	(5)
海外駐在員事務所	3	0	3	0	3
合 計	171	0	171	1	170

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位: 店)

	平成20年9月末	20年3月末比	平成20年3月末	19年9月末比	平成19年9月末
国内本支店(含む出張所)	75	0	75	△4	79
福岡県	(4)	(0)	(4)	(0)	(4)
熊本県	(68)	(0)	(68)	(0)	(68)
長崎県	(0)	(0)	(0)	(△2)	(2)
その他九州	(3)	(0)	(3)	(△1)	(4)
九州外	(0)	(0)	(0)	(△1)	(1)
海外駐在員事務所	—	—	—	—	—
合 計	75	0	75	△4	79

【親和銀行単体】

(単位: 店)

	平成20年9月末	20年3月末比	平成20年3月末	19年9月末比	平成19年9月末
国内本支店(含む出張所)	108	△17	125	△12	137
福岡県	(5)	(△6)	(11)	(△11)	(22)
熊本県	(0)	(△1)	(1)	(0)	(1)
長崎県	(96)	(△7)	(103)	(0)	(103)
その他九州	(6)	(△1)	(7)	(0)	(7)
九州外	(1)	(△2)	(3)	(△1)	(4)
海外駐在員事務所	0	△1	1	0	1
合 計	108	△18	126	△12	138

Ⅲ 貸出金等の状況

1. リスク管理債権（銀行法ベース）の状況

「リスク管理債権」は、銀行法施行規則により算出しており、担保・保証等による保全の有無にかかわらず開示対象としているため、開示額は、回収不能額を表すものではありません。

「破綻先債権」

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していること、その他の事由により元本又は利息の取立又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金のうち破産法の規定による破産の申立て等、法的に破綻している債務者に対する貸出金。

「延滞債権」

未収利息不計上貸出金であって、「破綻先債権」及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金。

「3ヶ月以上延滞債権」

元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3ヵ月以上遅延している貸出金で「破綻先債権」及び「延滞債権」に該当しない貸出金。

「貸出条件緩和債権」

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で「破綻先債権」、「延滞債権」及び「3ヵ月以上延滞債権」に該当しない貸出金。

※部分直接償却：福岡銀行は、部分直接償却を行っておりません。熊本ファミリー銀行及び親和銀行は、部分直接償却を行っております。

部分直接償却後の状況につきましては、次頁【福岡銀行が部分直接償却を実施した場合の状況】を参照ください。

※未収利息計上基準：破綻先・実質破綻先・破綻懸念先を一律不計上

【F F G連結】（福岡銀行連結：部分直接償却前、熊本ファミリー銀行連結・親和銀行連結：部分直接償却後）

(単位:百万円)

		20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	35,044	15,609	13,162	19,435	21,882
	延滞債権	229,482	△ 19,708	△ 38,878	249,190	268,360
	3ヵ月以上延滞債権	1,143	△ 522	1,033	1,665	110
	貸出条件緩和債権	129,921	△ 20,508	△ 30,745	150,429	160,666
	合 計	395,591	△ 25,129	△ 55,429	420,720	451,020
貸出金残高(末残)		7,952,550	△ 24,936	104,453	7,977,486	7,848,097

【福岡銀行単体】（部分直接償却前）

(単位:百万円)

		20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	22,290	10,791	9,908	11,499	12,382
	延滞債権	85,928	6,216	21,541	79,712	64,387
	3ヵ月以上延滞債権	542	△ 1,123	432	1,665	110
	貸出条件緩和債権	60,163	8,416	14,416	51,747	45,747
	合 計	168,925	24,301	46,298	144,624	122,627
貸出金残高(末残)		5,817,485	74,359	233,282	5,743,126	5,584,203

【熊本ファミリー銀行単体】（部分直接償却後）

(単位:百万円)

		20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	2,332	1,197	659	1,135	1,673
	延滞債権	26,496	△ 2,873	916	29,369	25,580
	3ヵ月以上延滞債権	7	7	7	—	—
	貸出条件緩和債権	20,920	△ 1,440	△ 1,021	22,360	21,941
	合 計	49,758	△ 3,107	563	52,865	49,195
貸出金残高(末残)		921,222	△ 5,015	△ 34,837	926,237	956,059

【親和銀行単体+分割子会社】（部分直接償却後）

(単位:百万円)

		20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	10,316	3,694	2,658	6,622	7,658
	延滞債権	116,465	△ 21,835	△ 59,662	138,300	176,127
	3ヵ月以上延滞債権	593	593	593	—	—
	貸出条件緩和債権	49,825	△ 27,802	△ 44,701	77,627	94,526
	合 計	177,201	△ 45,348	△ 101,111	222,549	278,312
貸出金残高(末残)		1,303,943	△ 94,272	△ 144,969	1,398,215	1,448,912

【福岡銀行が部分直接償却を実施した場合の状況】

▶部分直接償却とは、

「自己査定により回収不能又は無価値資産と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(IV分類金額)を取立不能見込額として債権から直接減額すること」です。

▶福岡銀行連結は、部分直接償却を行っていないためIV分類金額と同額の貸倒引当金を計上しております。(なお、熊本ファミリー銀行連結及び親和銀行連結は、部分直接償却を行っております。)

▶仮に福岡銀行が、部分直接償却を行った場合のリスク管理債権の状況は下記のとおりです。

【F F G連結】(部分直接償却後)

(単位:百万円)

		20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	18,563	7,653	4,610	10,910	13,953
	延滞債権	221,401	△ 22,229	△ 40,680	243,630	262,081
	3カ月以上延滞債権	1,143	△ 522	1,033	1,665	110
	貸出条件緩和債権	129,921	△ 20,508	△ 30,745	150,429	160,666
	合 計	371,029	△ 35,606	△ 65,783	406,635	436,812
部分直接償却額		93,065	15,377	△ 26,782	77,688	119,847
貸出金残高(末残)		7,927,988	△ 35,413	94,098	7,963,401	7,833,890

【福岡銀行単体】(部分直接償却後)

(単位:百万円)

		20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	5,878	2,831	1,397	3,047	4,481
	延滞債権	78,057	3,715	19,943	74,342	58,114
	3カ月以上延滞債権	542	△ 1,123	432	1,665	110
	貸出条件緩和債権	60,163	8,416	14,416	51,747	45,747
	合 計	144,642	13,840	36,188	130,802	108,454
部分直接償却額		24,283	10,461	10,110	13,822	14,173
貸出金残高(末残)		5,793,202	63,899	223,172	5,729,303	5,570,030

【熊本ファミリー銀行単体】(部分直接償却後)

(単位:百万円)

		20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	2,332	1,197	659	1,135	1,673
	延滞債権	26,496	△ 2,873	916	29,369	25,580
	3カ月以上延滞債権	7	7	7	—	—
	貸出条件緩和債権	20,920	△ 1,440	△ 1,021	22,360	21,941
	合 計	49,758	△ 3,107	563	52,865	49,195
部分直接償却額		12,330	5,650	△ 6,507	6,680	18,837
貸出金残高(末残)		921,222	△ 5,015	△ 34,837	926,237	956,059

【親和銀行単体+分割子会社】(部分直接償却後)

(単位:百万円)

		20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権	破綻先債権	10,316	3,694	2,658	6,622	7,658
	延滞債権	116,465	△ 21,835	△ 59,662	138,300	176,127
	3カ月以上延滞債権	593	593	593	—	—
	貸出条件緩和債権	49,825	△ 27,802	△ 44,701	77,627	94,526
	合 計	177,201	△ 45,348	△ 101,111	222,549	278,312
部分直接償却額		56,172	△ 751	△ 30,631	56,923	86,803
貸出金残高(末残)		1,303,943	△ 94,272	△ 144,969	1,398,215	1,448,912

2. 貸倒引当金等の状況

<償却・引当基準>

自己査定における区分		引 当 基 準
正	常 先	対象債権残高に対し、今後1年間の予想損失率(※1)を使用し一般引当を実施。
要	注 意 先	対象債権残高に対し、今後1年間の予想損失率(※1)を使用し一般引当を実施。
要 管 理 先	D C F 先 (※2)	対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積もり、当該額を対象債権残高より控除した残額に対し一般引当を実施。
	一般先	対象債権残高に対し、今後3年間の予想損失率(※1)を使用し一般引当を実施。
破 綻 懸 念 先	D C F 先 (※2)	対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積もり、当該額を対象債権残高より控除した残額に対し個別引当を実施。
	一般先	担保・保証で保全されていない部分に対し、今後3年間の予想損失率(※1)を使用し個別引当を実施。
実 質 破 綻 先	破 綻 先	担保・保証で保全されていない部分に対し、100%の個別引当を実施。

(※1) 予想損失率の算定は、福岡銀行はデフォルト率、熊本ファミリー銀行と親和銀行は貸倒実績率を使用しています。

(※2) D C F 法対象先の選定基準は以下のとおりであります。

- ① 要管理先・破綻懸念先のうち債権額が一定額以上の先(その他要注意先の一部を含む)
(福岡銀行と親和銀行は債権額10億円以上、熊本ファミリー銀行は債権額5億円以上)
- ② 上記①のグループ企業のうち、グループ企業自身も要管理先・破綻懸念先等で、かつ債権額5億円以上の先
- ③ 上記①、②に基づきD C F 法対象とした先が、その他要注意先に上位遷移した場合も原則、D C F 法の対象とする。

【F F G連結】(福岡銀行連結：部分直接償却前、熊本ファミリー連結・親和銀行連結：部分直接償却後)

(単位:百万円)

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
貸倒引当金	222,066	△ 22,039	△ 49,253	244,105	271,319
一般貸倒引当金	89,142	△ 14,279	△ 24,900	103,421	114,042
個別貸倒引当金	132,923	△ 7,760	△ 24,306	140,683	157,229
特定海外債権引当勘定	—	—	△ 47	—	47

【福岡銀行単体】(部分直接償却前)

(単位:百万円)

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
貸倒引当金	78,771	10,115	11,780	68,656	66,991
一般貸倒引当金	30,472	3,267	△ 2,208	27,205	32,680
個別貸倒引当金	48,298	6,847	14,035	41,451	34,263
特定海外債権引当勘定	—	—	△ 47	—	47

【熊本ファミリー銀行単体】(部分直接償却後)

(単位:百万円)

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
貸倒引当金	22,404	△ 4,362	△ 219	26,766	22,623
一般貸倒引当金	12,792	△ 644	△ 932	13,436	13,724
個別貸倒引当金	9,611	△ 3,719	713	13,330	8,898
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

【親和銀行単体+分割子会社】(部分直接償却後)

(単位:百万円)

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
貸倒引当金	107,287	△ 28,105	△ 61,075	135,392	168,362
一般貸倒引当金	38,975	△ 16,799	△ 22,334	55,774	61,309
個別貸倒引当金	68,311	△ 11,306	△ 38,742	79,617	107,053
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

3. リスク管理債権に対する保全状況

【F F G連結】（福岡銀行連結：部分直接償却前、熊本ファミリー銀行連結・親和銀行連結：部分直接償却後）

（単位：百万円）

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権額 (A)	395,591	△ 25,129	△ 55,429	420,720	451,020
保全等カバー	312,017	△ 13,137	△ 49,723	325,154	361,740
貸倒引当金 (B)	162,481	△ 17,237	△ 40,296	179,718	202,777
担保・保証等 (C)	149,536	4,101	△ 9,427	145,435	158,963
保全率 (B+C)/A	78.9%	1.6%	△ 1.3%	77.3%	80.2%
貸倒引当金 (B/A)	41.1%	△ 1.6%	△ 3.9%	42.7%	45.0%
担保・保証等 (C/A)	37.8%	3.2%	2.6%	34.6%	35.2%

【福岡銀行単体】（部分直接償却前）

（単位：百万円）

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権額 (A)	168,925	24,301	46,298	144,624	122,627
保全等カバー	124,229	20,012	26,662	104,217	97,567
貸倒引当金 (B)	62,163	9,650	12,770	52,513	49,393
担保・保証等 (C)	62,066	10,362	13,893	51,704	48,173
保全率 (B+C)/A	73.5%	1.4%	△ 6.1%	72.1%	79.6%
貸倒引当金 (B/A)	36.8%	0.5%	△ 3.5%	36.3%	40.3%
担保・保証等 (C/A)	36.7%	0.9%	△ 2.6%	35.8%	39.3%

【熊本ファミリー銀行単体】（部分直接償却後）

（単位：百万円）

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権額 (A)	49,758	△ 3,107	563	52,865	49,195
保全等カバー	36,542	△ 1,486	1,652	38,028	34,890
貸倒引当金 (B)	15,014	△ 3,020	926	18,034	14,088
担保・保証等 (C)	21,528	1,535	726	19,993	20,802
保全率 (B+C)/A	73.4%	1.5%	2.5%	71.9%	70.9%
貸倒引当金 (B/A)	30.2%	△ 3.9%	1.6%	34.1%	28.6%
担保・保証等 (C/A)	43.3%	5.5%	1.0%	37.8%	42.3%

【親和銀行単体+分割子会社】（部分直接償却後）

（単位：百万円）

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
リスク管理債権額 (A)	177,201	△ 45,348	△ 101,111	222,549	278,312
保全等カバー	151,074	△ 30,543	△ 76,318	181,617	227,392
貸倒引当金 (B)	85,160	△ 22,821	△ 52,351	107,981	137,511
担保・保証等 (C)	65,913	△ 7,722	△ 23,967	73,635	89,880
保全率 (B+C)/A	85.3%	3.7%	3.6%	81.6%	81.7%
貸倒引当金 (B/A)	48.1%	△ 0.4%	△ 1.3%	48.5%	49.4%
担保・保証等 (C/A)	37.2%	4.1%	4.9%	33.1%	32.3%

4. 金融再生法開示債権の状況

- >「債権額」：貸出金、外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金等。
 >「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」：自己査定における債務者区分「破綻先」及び「実質破綻先」に対する全債権。
 >「危険債権」：自己査定における債務者区分「破綻懸念先」に対する全債権。
 >「要管理債権」：自己査定における債務者区分「要注意先」のうち、債権毎の区分で「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権。
 >「正常債権」：上記に掲げる以外のものに区分される債権。
 >「要管理先債権」：「要管理債権」に該当する債務者の全債権。

※部分直接償却：福岡銀行は、部分直接償却を行っておりません。熊本ファミリー銀行及び親和銀行は、部分直接償却を行っております。
 部分直接償却後の状況につきましては、次頁【福岡銀行が部分直接償却を実施した場合の状況】を参照ください。

【F F G連結】（福岡銀行連結：部分直接償却前、熊本ファミリー銀行連結・親和銀行連結：部分直接償却後）

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	111,802	33,233	20,974	78,569	90,828
危険債権	163,006	△ 35,276	△ 45,255	198,282	208,261
要管理債権	130,795	△ 21,297	△ 29,979	152,092	160,774
合 計(金融再生法開示債権)	405,605	△ 23,339	△ 54,259	428,944	459,864
正常債権	7,696,307	△ 9,853	149,813	7,706,160	7,546,494
総与信残高	8,101,912	△ 33,192	95,553	8,135,104	8,006,359

【福岡銀行単体】（部分直接償却前）

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	51,876	18,096	17,367	33,780	34,509
危険債権	57,311	△ 1,053	14,572	58,364	42,739
要管理債権	60,706	7,294	14,848	53,412	45,858
合 計(金融再生法開示債権)	169,894	24,338	46,787	145,556	123,107
正常債権	5,748,734	39,631	176,135	5,709,103	5,572,599
要管理債権以外の要注意先債権	710,501	△ 13,869	60,943	724,370	649,558
正常先債権	5,038,232	53,500	115,192	4,984,732	4,923,040
総与信残高	5,918,628	63,968	222,922	5,854,660	5,695,706
要管理先債権	72,076	6,080	8,977	65,996	63,099

【熊本ファミリー銀行単体】（部分直接償却後）

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,578	2,279	△ 361	7,299	9,939
危険債権	20,028	△ 3,812	1,791	23,840	18,237
要管理債権	20,928	△ 1,432	△ 1,013	22,360	21,941
合 計(金融再生法開示債権)	50,535	△ 2,965	417	53,500	50,118
正常債権	887,176	△ 1,394	△ 34,712	888,570	921,888
要管理債権以外の要注意先債権	151,935	△ 17,557	△ 14,274	169,492	166,209
正常先債権	735,240	16,163	△ 20,438	719,077	755,678
総与信残高	937,711	△ 4,360	△ 34,296	942,071	972,007
要管理先債権	24,499	△ 3,479	△ 1,729	27,978	26,228

【親和銀行単体+分割子会社】（部分直接償却後）

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	41,990	12,452	4,609	29,538	37,381
危険債権	85,644	△ 30,408	△ 61,595	116,052	147,239
要管理債権	50,419	△ 27,208	△ 44,107	77,627	94,526
①合 計(金融再生法開示債権)	178,054	△ 45,164	△ 101,093	223,218	279,147
正常債権	1,146,464	△ 49,748	△ 46,595	1,196,212	1,193,059
要管理債権以外の要注意先債権	185,381	△ 16,298	3,884	201,679	181,497
正常先債権	961,082	△ 33,451	△ 50,480	994,533	1,011,562
②総与信残高	1,324,518	△ 94,913	△ 147,689	1,419,431	1,472,207
要管理先債権	68,859	△ 32,865	△ 51,938	101,724	120,797

【福岡銀行が部分直接償却を実施した場合の状況】

▶部分直接償却とは、

「自己査定により回収不能又は無価値資産と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(IV分類金額)を取立不能見込額として債権から直接減額すること」です。

▶福岡銀行連結は、部分直接償却を行っていないためIV分類金額と同額の貸倒引当金を計上しております。(なお、熊本ファミリー銀行連結及び親和銀行連結は、部分直接償却を行っております。)

▶仮に**福岡銀行が、部分直接償却を行った場合**の金融再生法開示債権の状況は、下記のとおりです。

【F F G連結】(部分直接償却後)

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	83,313	22,598	10,421	60,715	72,892
危険債権	163,006	△ 35,276	△ 45,255	198,282	208,261
要管理債権	130,795	△ 21,297	△ 29,979	152,092	160,774
合 計(金融再生法開示債権)	377,115	△ 33,975	△ 64,813	411,090	441,928
正常債権	7,696,307	△ 9,853	149,813	7,706,160	7,546,494
総与信残高	8,073,423	△ 43,828	85,000	8,117,251	7,988,423
部分直接償却額	98,444	15,414	△ 26,461	83,030	124,905

【福岡銀行単体】(部分直接償却後)

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	27,225	7,462	7,087	19,763	20,138
危険債権	57,311	△ 1,053	14,572	58,364	42,739
要管理債権	60,706	7,294	14,848	53,412	45,858
合 計(金融再生法開示債権)	145,244	13,704	36,508	131,540	108,736
正常債権	5,748,734	39,631	176,135	5,709,103	5,572,599
要管理債権以外の要注意先債権	710,501	△ 13,869	60,943	724,370	649,558
正常先債権	5,038,232	53,500	115,192	4,984,732	4,923,040
総与信残高	5,893,978	53,335	212,643	5,840,643	5,681,335
部分直接償却額	24,650	10,634	10,280	14,016	14,370

【熊本ファミリー銀行単体】(部分直接償却後)

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,578	2,279	△ 361	7,299	9,939
危険債権	20,028	△ 3,812	1,791	23,840	18,237
要管理債権	20,928	△ 1,432	△ 1,013	22,360	21,941
合 計(金融再生法開示債権)	50,535	△ 2,965	417	53,500	50,118
正常債権	887,176	△ 1,394	△ 34,712	888,570	921,888
要管理債権以外の要注意先債権	151,935	△ 17,557	△ 14,274	169,492	166,209
正常先債権	735,240	16,163	△ 20,438	719,077	755,678
総与信残高	937,711	△ 4,360	△ 34,296	942,071	972,007
部分直接償却額	13,701	5,529	△ 6,383	8,172	20,084

【親和銀行単体+分割子会社】(部分直接償却後)

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	41,990	12,452	4,609	29,538	37,381
危険債権	85,644	△ 30,408	△ 61,595	116,052	147,239
要管理債権	50,419	△ 27,208	△ 44,107	77,627	94,526
①合 計(金融再生法開示債権)	178,054	△ 45,164	△ 101,093	223,218	279,147
正常債権	1,146,464	△ 49,748	△ 46,595	1,196,212	1,193,059
要管理債権以外の要注意先債権	185,381	△ 16,298	3,884	201,679	181,497
正常先債権	961,082	△ 33,451	△ 50,480	994,533	1,011,562
②総与信残高	1,324,518	△ 94,913	△ 147,689	1,419,431	1,472,207
部分直接償却額	56,253	△ 751	△ 30,631	57,004	86,884

5. 金融再生法開示債権の保全状況

(1) 総括

【FFG連結】（福岡銀行連結：部分直接償却前、熊本ファミリー銀行連結・親和銀行連結：部分直接償却後）
（単位：億円）

	与信額	保全率	保全・引当状況	引当率(※)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,118	100.0%	保全アンカバー 642 (個別貸倒引当金) (642) 担保・保証による保全 476	100.0%
危険債権	1,630	86.7%	保全アンカバー 893 (個別貸倒引当金) (677) 担保・保証による保全 737	75.7%
要管理債権	1,308	52.8%	保全アンカバー 996 (一般貸倒引当金) (378) 担保・保証による保全 312	37.9%
開示債権計	4,056	79.4%	保全アンカバー部分に対する引当率	67.0%
正常債権	76,963			
合 計	81,019			

※引当率とは、保全アンカバー部分に対する貸倒引当金の計上割合。

【福岡銀行単体】（部分直接償却前）

（単位：億円）

	与信額	保全率	保全・引当状況	引当率(※)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	519	100.0%	保全アンカバー 319 (個別貸倒引当金) (319) 担保・保証による保全 200	100.0%
危険債権	573	82.4%	保全アンカバー 258 (個別貸倒引当金) (157) 担保・保証による保全 316	60.8%
要管理債権	607	42.9%	保全アンカバー 497 (一般貸倒引当金) (151) (特定海外債権引当勘定) (－) 担保・保証による保全 110	30.3%
開示債権計	1,699	73.7%	保全アンカバー部分に対する引当率	58.3%
正常債権	57,487			
合 計	59,186			

※引当率とは、保全アンカバー部分に対する貸倒引当金の計上割合。

【熊本ファミリー銀行単体】（部分直接償却後）

（単位：億円）

	与信額	保全率	保全・引当状況	引当率(※)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	96	100.0%	保全アンカバー 25 (個別貸倒引当金) (25) 担保・保証による保全 71	100.0%
危険債権	200	88.1%	保全アンカバー 95 (個別貸倒引当金) (71) 担保・保証による保全 105	74.9%
要管理債権	209	48.0%	保全アンカバー 167 (一般貸倒引当金) (58) (特定海外債権引当勘定) (－) 担保・保証による保全 43	34.6%
開示債権計	505	73.8%	保全アンカバー部分に対する引当率	53.7%
正常債権	8,872			
合 計	9,377			

※引当率とは、保全アンカバー部分に対する貸倒引当金の計上割合。

【親和銀行単体+分割子会社】（部分直接償却後）

（単位：億円）

	与信額	保全率	保全・引当状況	引当率(※)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	420	100.0%	保全アンカバー 233 (個別貸倒引当金) (233) 担保・保証による保全 187	100.0%
危険債権	856	89.3%	保全アンカバー 541 (個別貸倒引当金) (449) 担保・保証による保全 316	83.0%
要管理債権	504	66.3%	保全アンカバー 344 (一般貸倒引当金) (174) (特定海外債権引当勘定) (－) 担保・保証による保全 160	50.6%
開示債権計	1,781	85.3%	保全アンカバー部分に対する引当率	76.6%
正常債権	11,465			
合 計	13,245			

※引当率とは、保全アンカバー部分に対する貸倒引当金の計上割合。

(2) 保全内訳

【FFG連結】(福岡銀行連結：部分直接償却前、熊本ファミリー銀行連結・親和銀行連結：部分直接償却後)

■平成20年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	111,802	111,802	64,240	47,562	100.0%
危険債権	163,006	141,333	67,663	73,669	86.7%
要管理債権	130,795	68,988	37,750	31,237	52.8%
合 計	405,605	322,124	169,654	152,470	79.4%

■平成20年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	78,569	78,569	40,444	38,124	100.0%
危険債権	198,282	173,628	99,225	74,402	87.6%
要管理債権	152,092	80,998	45,933	35,065	53.3%
合 計	428,944	333,196	185,602	147,593	77.7%

■平成20年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	33,233	33,233	23,796	9,438	0.0%
危険債権	△ 35,276	△ 32,295	△ 31,562	△ 733	△ 0.9%
要管理債権	△ 21,297	△ 12,010	△ 8,183	△ 3,828	△ 0.5%
合 計	△ 23,339	△ 11,072	△ 15,948	4,877	1.7%

【福岡銀行単体】(部分直接償却前)

■平成20年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	51,876	51,876	31,861	20,015	100.0%
危険債権	57,311	47,226	15,675	31,551	82.4%
要管理債権	60,706	26,030	15,073	10,956	42.9%
合 計	169,894	125,133	62,609	62,523	73.7%

■平成20年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	33,780	33,780	18,426	15,354	100.0%
危険債権	58,364	49,354	22,300	27,053	84.6%
要管理債権	53,412	21,928	12,146	9,782	41.1%
合 計	145,556	105,063	52,872	52,190	72.2%

■平成20年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18,096	18,096	13,435	4,661	0.0%
危険債権	△ 1,053	△ 2,128	△ 6,625	4,498	△ 2.2%
要管理債権	7,294	4,102	2,927	1,174	1.8%
合 計	24,338	20,070	9,737	10,333	1.5%

【熊本ファミリー銀行単体】（部分直接償却後）

■平成20年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,578	9,578	2,504	7,074	100.0%
危険債権	20,028	17,652	7,107	10,545	88.1%
要管理債権	20,928	10,042	5,770	4,272	48.0%
合 計	50,535	37,273	15,381	21,892	73.8%

■平成20年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,299	7,299	1,756	5,543	100.0%
危険債権	23,840	20,638	11,573	9,064	86.6%
要管理債権	22,360	10,663	5,627	5,035	47.7%
合 計	53,500	38,601	18,957	19,643	72.2%

■平成20年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,279	2,279	748	1,531	0.0%
危険債権	△ 3,812	△ 2,986	△ 4,466	1,481	1.5%
要管理債権	△ 1,432	△ 621	143	△ 763	0.3%
合 計	△ 2,965	△ 1,328	△ 3,576	2,249	1.6%

【親和銀行単体+分割子会社】（部分直接償却後）

■平成20年9月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	41,990	41,990	23,323	18,666	100.0%
危険債権	85,644	76,440	44,867	31,572	89.3%
要管理債権	50,419	33,433	17,425	16,008	66.3%
合 計	178,054	151,864	85,616	66,247	85.3%

■平成20年3月末

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	29,538	29,538	14,177	15,361	100.0%
危険債権	116,052	103,613	65,328	38,284	89.3%
要管理債権	77,627	49,080	28,832	20,247	63.2%
合 計	223,218	182,232	108,338	73,893	81.6%

■平成20年3月末対比増減

(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	12,452	12,452	9,146	3,305	0.0%
危険債権	△ 30,408	△ 27,173	△ 20,461	△ 6,712	0.0%
要管理債権	△ 27,208	△ 15,647	△ 11,407	△ 4,239	3.1%
合 計	△ 45,164	△ 30,368	△ 22,722	△ 7,646	3.7%

6. 子銀行における自己査定状況

(1) 自己査定結果(債務者区分)

【福岡銀行単体】

(単位:億円)

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
破綻先	227	111	102	116	125
実質破綻先	292	70	71	222	221
① 小計	519	181	174	338	345
② 破綻懸念先	573	△ 11	146	584	427
(①+②)	(1,092)	(171)	(320)	(921)	(772)
③ 要注意先	7,712	△ 66	758	7,778	6,954
④ 要管理債権	607	73	148	534	459
合計(①+②+③)	8,804	105	1,077	8,699	7,727
金融再生法開示債権 (①+②+④)	1,699	243	468	1,456	1,231
⑤ 正常先	50,382	535	1,152	49,847	49,230
総与信額 (①+②+③+⑤)	59,186	639	2,229	58,547	56,957

(注) 総与信額……貸出金、外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金等。

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:億円)

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
破綻先	24	12	5	12	19
実質破綻先	71	10	△ 9	61	80
① 小計	96	23	△ 3	73	99
② 破綻懸念先	200	△ 38	18	238	182
(①+②)	(296)	(△ 15)	(14)	(311)	(282)
③ 要注意先	1,729	△ 190	△ 153	1,919	1,882
④ 要管理債権	209	△ 15	△ 10	224	219
合計(①+②+③)	2,025	△ 205	△ 138	2,230	2,163
金融再生法開示債権 (①+②+④)	505	△ 30	4	535	501
⑤ 正常先	7,352	161	△ 205	7,191	7,557
総与信額 (①+②+③+⑤)	9,377	△ 44	△ 343	9,421	9,720

(注) 総与信額……貸出金、外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金等。

【親和銀行単体+分割子会社】

(単位:億円)

	20年9月末	20/3末比	19/9末比	20年3月末	19年9月末
破綻先	104	37	26	67	78
実質破綻先	316	87	20	229	296
① 小計	420	125	46	295	374
② 破綻懸念先	856	△ 305	△ 616	1,161	1,472
(①+②)	(1,276)	(△ 180)	(△ 570)	(1,456)	(1,846)
③ 要注意先	2,358	△ 435	△ 402	2,793	2,760
④ 要管理債権	504	△ 272	△ 441	776	945
合計(①+②+③)	3,634	△ 615	△ 972	4,249	4,606
金融再生法開示債権 (①+②+④)	1,781	△ 451	△ 1,010	2,232	2,791
⑤ 正常先	9,611	△ 334	△ 505	9,945	10,116
総与信額 (①+②+③+⑤)	13,245	△ 949	△ 1,477	14,194	14,722

(注) 総与信額……貸出金、外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金等。

(2) 自己査定結果(分類状況)

- > 分類額は、個別貸倒引当金控除後の残高。
 > 「非分類」：Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。
 > 「Ⅱ分類」：回収について通常の度合を超える危険を含むと認められる資産。
 > 「Ⅲ分類」：最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。
 > 「Ⅳ分類」：回収不可能又は無価値と判定される資産。

【福岡銀行単体】

(単位：億円)

	20年9月末		20/3末比		19/9末比		20年3月末		19年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
総与信額	59,186	100.0%	639	0.0%	2,229	0.0%	58,547	100.0%	56,957	100.0%
非分類額	52,253	88.3%	513	△0.1%	1,236	△1.3%	51,740	88.4%	51,017	89.6%
分類額合計	6,933	11.7%	127	0.1%	993	1.3%	6,806	11.6%	5,940	10.4%
Ⅱ分類	6,832	11.5%	116	0.0%	950	1.2%	6,716	11.5%	5,882	10.3%
Ⅲ分類	101	0.2%	11	0.1%	43	0.1%	90	0.1%	58	0.1%
Ⅳ分類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位：億円)

	20年9月末		20/3末比		19/9末比		20年3月末		19年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
総与信額	9,377	100.0%	△ 44	0.0%	△ 343	0.0%	9,421	100.0%	9,720	100.0%
非分類額	7,822	83.4%	86	1.3%	△ 222	0.6%	7,736	82.1%	8,044	82.8%
分類額合計	1,555	16.6%	△ 129	△1.3%	△ 121	△0.6%	1,684	17.9%	1,676	17.2%
Ⅱ分類	1,532	16.3%	△ 120	△1.3%	△ 117	△0.6%	1,652	17.6%	1,649	16.9%
Ⅲ分類	24	0.3%	△ 8	0.0%	△ 3	0.0%	32	0.3%	27	0.3%
Ⅳ分類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【親和銀行単体+分割子会社】

(単位：億円)

	20年9月末		20/3末比		19/9末比		20年3月末		19年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
総与信額	13,245	100.0%	△ 949	0.0%	△ 1,477	0.0%	14,194	100.0%	14,722	100.0%
非分類額	10,906	82.3%	△ 519	1.8%	△ 936	1.9%	11,425	80.5%	11,842	80.4%
分類額合計	2,340	17.7%	△ 429	△1.8%	△ 540	△1.9%	2,769	19.5%	2,880	19.6%
Ⅱ分類	2,247	17.0%	△ 398	△1.6%	△ 467	△1.5%	2,645	18.6%	2,714	18.5%
Ⅲ分類	92	0.7%	△ 32	△0.2%	△ 74	△0.4%	124	0.9%	166	1.1%
Ⅳ分類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(3) 自己査定結果(総括)

【福岡銀行単体】

(単位:億円)

自己査定結果及び分類額

対象:貸出金+その他の債権(注1)

金融再生法基準に基づく開示債権	
部分直接償却実施前	部分直接償却実施後 (参考)

対象:貸出金+その他の債権(注1)

銀行法基準
リスク管理債権

対象:貸出金のみ

債務者区分		分類額			
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 227		203	24	— (23)	— (167)
実質破綻先 292		154	138	— (49)	— (79)
破綻懸念先 573		278	194	101 (157)	
要注意先 7,712	要管理先 721	54	667		
	要管理先以外の 要注意先 6,991	1,183	5,809		
正常先 50,382		50,382			
合 計 59,186		52,253	6,832	101	—

開示区分 ＜与信残高＞
破産更生債権及び これらに準ずる債権 519 保全率 100.0%
危険債権 573 保全率 82.4%
要管理債権 607 保全率 42.9%
小計 1,699
正常債権 57,487
合計 59,186

開示区分 ＜与信残高＞
破産更生債権及び これらに準ずる債権 272 部分直接償却額 247
危険債権 573
要管理債権 607
小計 1,452
正常債権 57,487
合計 58,940

開示区分 ＜貸出金残高＞
破綻先債権 223
延滞債権 859
3カ月以上 延滞債権 5
貸出条件 緩和債権 602
合計 1,689

債権総額に占める割合	88.3%	11.5%	0.2%	—
------------	-------	-------	------	---

(注1)その他の債権:外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金等。

(注2)自己査定結果における()は分類額に対する引当金残高です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みです。

(注3)要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等(優良担保・保証)を控除した額をすべてⅡ分類としております。

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位: 億円)

自己査定結果及び分類額

対象: 貸出金+その他の債権(注1)

金融再生法基準に基づく開示債権	
部分直接償却実施前 (参考)	部分直接償却実施後

対象: 貸出金+その他の債権(注1)

銀行法基準
リスク管理債権

対象: 貸出金のみ

債務者区分		分類額			
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 24		14	10	— (6)	— (0)
実質破綻先 71		33	38	— (17)	— (2)
破綻懸念先 200		106	71	24 (71)	
要注意先 1,729	要管理先 245	21	224		
	要管理先以外の 要注意先 1,484	295	1,189		
正常先 7,352		7,352			
合 計 9,377		7,822	1,532	24	—

開示区分 ＜与信残高＞
破産更生債権及び これらに準ずる債権 233
危険債権 200
要管理債権 209
小計 642
正常債権 8,872
合計 9,514

開示区分 ＜与信残高＞
破産更生債権及び これらに準ずる債権 96 保全率 100.0% 部分直接償却額 137
危険債権 200 保全率 88.1%
要管理債権 209 保全率 48.0%
小計 505
正常債権 8,872
合計 9,377

開示区分 ＜貸出金残高＞
破綻先債権 23
延滞債権 265
3カ月以上 延滞債権 0
貸出条件 緩和債権 209
合計 498

債権総額に占める割合	83.4%	16.3%	0.3%	—
------------	-------	-------	------	---

(注1) その他の債権: 外国為替、未收利息、支払承諾見返、仮払金等。

(注2) 自己査定結果における()は分類額に対する引当金残高です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みです。

(注3) 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等(優良担保・保証)を控除した額をすべてⅡ分類としております。

【親和銀行単体+分割子会社】

自己査定結果及び分類額

対象：貸出金＋その他の債権（注1）

債務者区分		分類額			
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先 104		68	36	— (11)	— (44)
実質破綻先 316		219	97	— (42)	— (136)
破綻懸念先 856		579	185	92 (449)	
要注意先 2,358	要管理先 689	55	634		
	要管理先以外の 要注意先 1,669	374	1,295		
正常先 9,611		9,611			
合 計 13,245		10,906	2,247	92	—

債権総額に占める割合	82.3%	17.0%	0.7%	—
------------	-------	-------	------	---

(注1) その他の債権：外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金等。
(注2) 自己査定結果における()は分類額に対する引当金残高です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済みです。
(注3) 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等(優良担保・保証)を控除した額をすべてⅡ分類としております。

金融再生法基準に基づく開示債権	
部分直接償却実施前 (参考)	部分直接償却実施後

対象：貸出金＋その他の債権（注1）

開示区分 ＜与信残高＞
破産更生債権及び これらに準ずる債権 982
危険債権 856
要管理債権 504
小計 2,343
正常債権 11,465
合計 13,808

開示区分 ＜与信残高＞
破産更生債権及び これらに準ずる債権 420 保全率 100% 部分直接償却額 563
危険債権 856 保全率 89.3%
要管理債権 504 保全率 66.3%
小計 1,781
正常債権 11,465
合計 13,245

銀行法基準 リスク管理債権
対象：貸出金のみ

開示区分 ＜貸出金残高＞
破綻先債権 103
延滞債権 1,165
3カ月以上 延滞債権 6
貸出条件 緩和債権 498
合計 1,772

7. 業種別貸出金状況等

【3行合算+分割子会社】

(1) 業種別貸出金

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	8,042,481	100.0%	△ 24,899	53,566	8,067,380	7,988,915
製造業	700,318	8.7%	11,285	12,343	689,033	687,975
農業	14,349	0.2%	1,626	2,127	12,723	12,222
林業	402	0.0%	△ 47	△ 281	449	683
漁業	15,362	0.2%	△ 5,147	△ 6,015	20,509	21,377
鉱業	11,756	0.2%	582	446	11,174	11,310
建設業	280,239	3.5%	△ 35,439	△ 63,082	315,678	343,321
電気・ガス・熱供給・水道業	83,619	1.0%	11,663	24,890	71,956	58,729
情報通信業	50,776	0.6%	△ 6,902	6,782	57,678	43,994
運輸業	284,508	3.5%	△ 4,417	8,411	288,925	276,097
卸売・小売業	1,052,252	13.1%	△ 5,916	△ 21,674	1,058,168	1,073,926
金融・保険業	436,501	5.4%	△ 56,662	△ 128,989	493,163	565,490
不動産業	1,086,607	13.5%	11,857	7,994	1,074,750	1,078,613
各種サービス業	1,086,336	13.5%	△ 33,862	△ 85,010	1,120,198	1,171,346
地方公共団体	708,047	8.8%	42,719	202,459	665,328	505,588
その他	2,231,409	27.8%	43,761	93,165	2,187,648	2,138,244

(注) 金融・保険業向け貸出金には、福岡銀行のふくおかフィナンシャルグループ向け貸出金(20年9月末及び3月末 70,000百万円、19年9月末 120,000百万円)及び熊本ファミリー銀行向け貸出金(20年9月末・20年3月末・19年9月末 10,000百万円)を含んでおります。

(2) 業種別リスク管理債権

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	395,885	100.0%	△ 23,957	△ 53,992	419,842	449,877
製造業	50,220	12.7%	△ 6,042	△ 13,856	56,262	64,076
農業	396	0.1%	99	34	297	362
林業	1	0.0%	0	1	1	—
漁業	5,208	1.3%	△ 5,717	△ 6,356	10,925	11,564
鉱業	715	0.2%	53	36	662	679
建設業	26,032	6.6%	△ 4,217	△ 13,074	30,249	39,106
電気・ガス・熱供給・水道業	98	0.0%	△ 50	△ 101	148	199
情報通信業	2,748	0.7%	384	1,151	2,364	1,597
運輸業	22,485	5.7%	1,841	△ 1,000	20,644	23,485
卸売・小売業	69,100	17.5%	△ 8,038	△ 10,895	77,138	79,995
金融・保険業	34,641	8.7%	△ 5,519	17,191	40,160	17,450
不動産業	50,775	12.8%	5,203	△ 10,851	45,572	61,626
各種サービス業	107,713	27.2%	△ 3,756	△ 19,369	111,469	127,082
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	25,747	6.5%	1,804	3,096	23,943	22,651

(3) 業種別金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	398,484	100.0%	△ 23,594	△ 53,631	422,078	452,115
製造業	50,504	12.7%	△ 5,989	△ 13,923	56,493	64,427
農業	399	0.1%	100	33	299	366
林業	1	0.0%	0	1	1	—
漁業	5,241	1.3%	△ 5,719	△ 6,361	10,960	11,602
鉱業	715	0.2%	53	36	662	679
建設業	26,212	6.6%	△ 4,159	△ 13,074	30,371	39,286
電気・ガス・熱供給・水道業	98	0.0%	△ 51	△ 101	149	199
情報通信業	2,748	0.7%	384	1,149	2,364	1,599
運輸業	22,568	5.7%	1,846	△ 930	20,722	23,498
卸売・小売業	69,382	17.4%	△ 8,065	△ 10,932	77,447	80,314
金融・保険業	34,885	8.7%	△ 5,680	17,434	40,565	17,451
不動産業	51,019	12.8%	5,339	△ 10,664	45,680	61,683
各種サービス業	108,946	27.3%	△ 3,463	△ 19,395	112,409	128,341
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	25,760	6.5%	1,810	3,095	23,950	22,665

【福岡銀行単体】

(1) 業種別貸出金

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	5,817,316	100.0%	74,388	233,372	5,742,928	5,583,944
製造業	521,546	9.0%	14,679	24,714	506,867	496,832
農業	6,746	0.1%	2,139	2,361	4,607	4,385
林業	181	0.0%	△ 7	△ 226	188	407
漁業	4,239	0.1%	△ 223	△ 87	4,462	4,326
鉱業	3,861	0.1%	△ 517	△ 601	4,378	4,462
建設業	171,336	2.9%	△ 13,273	△ 15,495	184,609	186,831
電気・ガス・熱供給・水道業	64,548	1.1%	9,684	20,634	54,864	43,914
情報通信業	36,547	0.6%	△ 7,817	6,395	44,364	30,152
運輸業	221,959	3.8%	△ 2,939	12,279	224,898	209,680
卸売・小売業	812,552	14.0%	6,056	9,595	806,496	802,957
金融・保険業	327,446	5.6%	△ 33,968	△ 88,021	361,414	415,467
不動産業	861,058	14.8%	12,262	28,490	848,796	832,568
各種サービス業	656,969	11.3%	△ 5,540	△ 12,431	662,509	669,400
地方公共団体	561,862	9.7%	59,438	178,998	502,424	382,864
その他	1,566,466	26.9%	34,414	66,767	1,532,052	1,499,699

(2) 業種別リスク管理債権

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	168,925	100.0%	24,499	46,557	144,426	122,368
製造業	17,325	10.3%	2,961	341	14,364	16,984
農業	41	0.0%	△ 9	△ 117	50	158
林業	1	0.0%	0	1	1	—
漁業	14	0.0%	△ 1	13	15	1
鉱業	174	0.1%	0	△ 11	174	185
建設業	11,982	7.1%	4,014	4,966	7,968	7,016
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—
情報通信業	1,762	1.1%	238	978	1,524	784
運輸業	4,786	2.8%	2,485	1,727	2,301	3,059
卸売・小売業	36,076	21.4%	2,302	4,839	33,774	31,237
金融・保険業	29,100	17.2%	3,934	21,405	25,166	7,695
不動産業	28,100	16.6%	8,676	7,210	19,424	20,890
各種サービス業	29,103	17.2%	△ 164	3,934	29,267	25,169
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	10,453	6.2%	61	1,267	10,392	9,186

(3) 業種別金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	169,894	100.0%	24,535	47,046	145,359	122,848
製造業	17,373	10.2%	2,946	355	14,427	17,018
農業	41	0.0%	△ 9	△ 117	50	158
林業	1	0.0%	0	1	1	—
漁業	14	0.0%	△ 1	13	15	1
鉱業	174	0.1%	0	△ 11	174	185
建設業	12,086	7.1%	4,090	5,044	7,996	7,042
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—	—
情報通信業	1,762	1.0%	238	978	1,524	784
運輸業	4,789	2.8%	2,488	1,730	2,301	3,059
卸売・小売業	36,253	21.3%	2,295	4,843	33,958	31,410
金融・保険業	29,344	17.3%	3,773	21,649	25,571	7,695
不動産業	28,130	16.6%	8,704	7,240	19,426	20,890
各種サービス業	29,466	17.4%	△ 51	4,051	29,517	25,415
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	10,453	6.2%	61	1,267	10,392	9,186

【熊本ファミリー銀行単体】

(1) 業種別貸出金

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	921,222	100.0%	△ 5,015	△ 34,837	926,237	956,059
製造業	58,162	6.3%	806	△ 626	57,356	58,788
農業	5,611	0.6%	△ 149	△ 3	5,760	5,614
林業	195	0.0%	△ 17	△ 47	212	242
漁業	3,345	0.4%	△ 177	△ 179	3,522	3,524
鉱業	2,165	0.2%	△ 429	△ 501	2,594	2,666
建設業	48,311	5.3%	△ 8,751	△ 14,993	57,062	63,304
電気・ガス・熱供給・水道業	3,356	0.4%	△ 196	△ 308	3,552	3,664
情報通信業	2,179	0.2%	492	209	1,687	1,970
運輸業	15,472	1.7%	675	△ 21	14,797	15,493
卸売・小売業	91,566	9.9%	△ 896	△ 3,226	92,462	94,792
金融・保険業	37,110	4.0%	△ 4,190	△ 12,346	41,300	49,456
不動産業	131,394	14.3%	△ 994	△ 7,738	132,388	139,132
各種サービス業	186,846	20.3%	△ 8,777	△ 16,241	195,623	203,087
地方公共団体	33,196	3.6%	10,422	9,335	22,774	23,861
その他	302,314	32.8%	7,166	11,848	295,148	290,466

(2) 業種別リスク管理債権

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	49,758	100.0%	△ 3,107	563	52,865	49,195
製造業	5,998	12.1%	951	986	5,047	5,012
農業	203	0.4%	114	146	89	57
林業	0	0.0%	0	0	—	—
漁業	1,107	2.2%	76	230	1,031	877
鉱業	106	0.2%	△ 90	△ 151	196	257
建設業	4,304	8.6%	△ 2,759	△ 4,363	7,063	8,667
電気・ガス・熱供給・水道業	98	0.2%	△ 4	19	102	79
情報通信業	27	0.1%	27	△ 42	—	69
運輸業	2,087	4.2%	△ 30	△ 188	2,117	2,275
卸売・小売業	5,419	10.9%	△ 636	△ 81	6,055	5,500
金融・保険業	1,611	3.2%	△ 1,934	423	3,545	1,188
不動産業	7,860	15.8%	420	△ 908	7,440	8,768
各種サービス業	15,788	31.7%	△ 646	2,548	16,434	13,240
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	5,150	10.4%	1,404	1,944	3,746	3,206

(3) 業種別金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	50,535	100.0%	△ 2,965	417	53,500	50,118
製造業	6,054	12.0%	940	862	5,114	5,192
農業	206	0.4%	115	146	91	60
林業	0	0.0%	0	0	—	—
漁業	1,107	2.2%	73	226	1,034	881
鉱業	106	0.2%	△ 90	△ 151	196	257
建設業	4,335	8.6%	△ 2,751	△ 4,421	7,086	8,756
電気・ガス・熱供給・水道業	98	0.2%	△ 4	19	102	79
情報通信業	27	0.1%	27	△ 42	—	69
運輸業	2,156	4.3%	△ 31	△ 126	2,187	2,282
卸売・小売業	5,467	10.8%	△ 668	△ 139	6,135	5,606
金融・保険業	1,611	3.2%	△ 1,934	423	3,545	1,188
不動産業	7,861	15.5%	421	△ 907	7,440	8,768
各種サービス業	16,350	32.3%	△ 471	2,579	16,821	13,771
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	5,157	10.2%	1,408	1,948	3,749	3,209

【親和銀行単体+分割子会社】

(1) 業種別貸出金

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	1,303,943	100.0%	△ 94,272	△ 144,969	1,398,215	1,448,912
製造業	120,610	9.2%	△ 4,200	△ 11,745	124,810	132,355
農業	1,992	0.2%	△ 364	△ 231	2,356	2,223
林業	26	0.0%	△ 23	△ 8	49	34
漁業	7,778	0.6%	△ 4,747	△ 5,749	12,525	13,527
鉱業	5,730	0.4%	1,528	1,548	4,202	4,182
建設業	60,592	4.7%	△ 13,415	△ 32,594	74,007	93,186
電気・ガス・熱供給・水道業	15,715	1.2%	2,175	4,564	13,540	11,151
情報通信業	12,050	0.9%	423	178	11,627	11,872
運輸業	47,077	3.6%	△ 2,153	△ 3,847	49,230	50,924
卸売・小売業	148,134	11.4%	△ 11,076	△ 28,043	159,210	176,177
金融・保険業	71,945	5.5%	△ 18,504	△ 28,622	90,449	100,567
不動産業	94,155	7.2%	589	△ 12,758	93,566	106,913
各種サービス業	242,521	18.6%	△ 19,545	△ 56,338	262,066	298,859
地方公共団体	112,989	8.7%	△ 27,141	14,126	140,130	98,863
その他	362,629	27.8%	2,181	14,550	360,448	348,079

(2) 業種別リスク管理債権

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	177,201	100.0%	△ 45,348	△ 101,111	222,549	278,312
製造業	26,896	15.2%	△ 9,954	△ 15,182	36,850	42,078
農業	150	0.1%	△ 6	3	156	147
林業	—	—	—	—	—	—
漁業	4,085	2.3%	△ 5,792	△ 6,600	9,877	10,685
鉱業	434	0.2%	143	199	291	235
建設業	9,745	5.5%	△ 5,472	△ 13,677	15,217	23,422
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	△ 45	△ 119	45	119
情報通信業	957	0.5%	118	213	839	744
運輸業	15,611	8.8%	△ 614	△ 2,539	16,225	18,150
卸売・小売業	27,604	15.6%	△ 9,704	△ 15,653	37,308	43,257
金融・保険業	3,928	2.2%	△ 7,520	△ 4,639	11,448	8,567
不動産業	14,814	8.4%	△ 3,894	△ 17,153	18,708	31,967
各種サービス業	62,820	35.5%	△ 2,947	△ 25,852	65,767	88,672
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	10,150	5.7%	340	△ 114	9,810	10,264

(3) 業種別金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	20年9月末	構成比	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	178,054	100.0%	△ 45,164	△ 101,093	223,218	279,147
製造業	27,076	15.2%	△ 9,875	△ 15,140	36,951	42,216
農業	151	0.1%	△ 6	4	157	147
林業	—	—	—	—	—	—
漁業	4,118	2.3%	△ 5,792	△ 6,602	9,910	10,720
鉱業	434	0.2%	143	199	291	235
建設業	9,791	5.5%	△ 5,497	△ 13,696	15,288	23,487
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	△ 46	△ 119	46	119
情報通信業	957	0.5%	118	212	839	745
運輸業	15,622	8.8%	△ 611	△ 2,535	16,233	18,157
卸売・小売業	27,661	15.5%	△ 9,693	△ 15,636	37,354	43,297
金融・保険業	3,928	2.2%	△ 7,520	△ 4,639	11,448	8,567
不動産業	15,026	8.4%	△ 3,787	△ 16,997	18,813	32,023
各種サービス業	63,129	35.5%	△ 2,941	△ 26,025	66,070	89,154
地方公共団体	—	—	—	—	—	—
その他	10,156	5.7%	344	△ 118	9,812	10,274

8. 不良債権のオフバランス化実績

(1) 金融再生法開示債権について

ア. 債権残高の増減

【3行合算+分割子会社】

	20年3月末 (A)	20年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	4,223	3,255	729	3,985

(注) 新規発生分は20年度上半期に初めて開示債権となった先

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 967	△ 238

【福岡銀行単体】

	20年3月末 (A)	20年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	1,456	1,234	465	1,699

(注) 新規発生分は20年度上半期に初めて開示債権となった先

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 222	243

【熊本ファミリー銀行単体】

	20年3月末 (A)	20年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	535	411	94	505

(注) 新規発生分は20年度上半期に初めて開示債権となった先

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 124	△ 30

【親和銀行単体+分割子会社】

	20年3月末 (A)	20年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
金融再生法開示債権	2,232	1,610	170	1,781

(注) 新規発生分は20年度上半期に初めて開示債権となった先

(単位: 億円)

既存分のオフバランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 622	△ 452

イ. オフバランス化の内訳

【3行合算+分割子会社】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	△ 52
イ 直接償却	△ 148
ウ 清算型処理	△ 2
エ 再建型処理	△ 151
オ 回収・返済	△ 459
小計	△ 813
カ 業況改善	△ 155
合計	△ 967

ア 債権売却 (再生ファンドへの売却・バルクセール等)

イ 部分直接償却実施額

ウ 清算型倒産手続 (破産・特別清算) による債権切捨て・債権償却

エ 再建型倒産手続 (会社更生・民事再生・会社整理) による債権切捨て、私的整理による債権放棄等

オ 回収、返済等

カ 債務者の業況改善等

【福岡銀行単体】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	△ 7
イ 直接償却	-
ウ 清算型処理	-
エ 再建型処理	△ 30
オ 回収・返済	△ 102
小計	△ 139
カ 業況改善	△ 83
合計	△ 222

【熊本ファミリー銀行単体】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	-
イ 直接償却	△ 49
ウ 清算型処理	△ 2
エ 再建型処理	-
オ 回収・返済	△ 52
小計	△ 103
カ 業況改善	△ 21
合計	△ 124

【親和銀行単体+分割子会社】

<内訳> (単位: 億円)

ア 債権流動化	△ 45
イ 直接償却	△ 99
ウ 清算型処理	-
エ 再建型処理	△ 121
オ 回収・返済	△ 306
小計	△ 571
カ 業況改善	△ 51
合計	△ 622

(2) 破綻懸念先以下の債権について

ア. 債権残高の増減

【3行合算+分割子会社】

(単位:億円)

	20年3月末 (A)	20年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生債権および危険債権	2,689	1,941	724	2,664

(注) 新規発生分は20年度上半期に初めて破綻懸念先以下となった先

【福岡銀行単体】

(単位:億円)

	20年3月末 (A)	20年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生債権および危険債権	921	710	382	1,092

(注) 新規発生分は20年度上半期に初めて破綻懸念以下となった先

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:億円)

	20年3月末 (A)	20年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生債権および危険債権	311	209	87	296

(注) 新規発生分は20年度上半期に初めて破綻懸念以下となった先

【親和銀行単体+分割子会社】

(単位:億円)

	20年3月末 (A)	20年9月末		
		既存分(B)	新規発生分(C)	合計(D)=(B)+(C)
破産更生債権および危険債権	1,456	1,021	255	1,276

(注) 新規発生分は20年度上半期に初めて破綻懸念先以下となった先

既存分のオフ・バランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 748	△ 24

既存分のオフ・バランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 211	170

既存分のオフ・バランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 102	△ 15

既存分のオフ・バランス化 (B)-(A)	債権残高の増減 (D)-(A)
△ 435	△ 180

イ. オフ・バランス化の内訳

【3行合算+分割子会社】

<内訳>

(単位:億円)

ア 債権流動化	△ 52
イ 直接償却	△ 134
ウ 清算型処理	△ 2
エ 再建型処理	△ 86
オ 回収・返済	△ 357
小計	△ 631
カ 業況改善	△ 117
合計	△ 748

ア 債権売却(再生ファンドへの売却・バルクセール等)

イ 部分直接償却実施額

ウ 清算型倒産手続(破産・特別清算)による債権切捨て・債権償却

エ 再建型倒産手続(会社更生・民事再生・会社整理)による債権切捨て、私的整理による債権放棄等

オ 回収、返済等

カ 債務者の業況改善等

【福岡銀行単体】

【熊本ファミリー銀行単体】

【親和銀行単体+分割子会社】

<内訳>

(単位:億円)

ア 債権流動化	△ 7
イ 直接償却	—
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	△ 30
オ 回収・返済	△ 97
小計	△ 134
カ 業況改善	△ 77
合計	△ 211

<内訳>

(単位:億円)

ア 債権流動化	—
イ 直接償却	△ 35
ウ 清算型処理	△ 2
エ 再建型処理	—
オ 回収・返済	△ 51
小計	△ 88
カ 業況改善	△ 14
合計	△ 102

<内訳>

(単位:億円)

ア 債権流動化	△ 45
イ 直接償却	△ 99
ウ 清算型処理	—
エ 再建型処理	△ 56
オ 回収・返済	△ 209
小計	△ 408
カ 業況改善	△ 26
合計	△ 435

(3) 与信費用比率

(株) 福岡フィナンシャルグループ (8354) 平成20年度中間期決算説明資料

【3行合算】

	平成20年中間期	平成19年中間期	平成19年度
信用コスト (A)	11,462	98,669	120,010
貸出金平残 (B)	8,008,194	7,802,949	7,917,414
与信費用比率 (A)/(B)	0.29%	2.52%	1.52%

(単位:百万円)

【福岡銀行単体】

	平成20年中間期	平成19年中間期	平成19年度
信用コスト (A)	13,722	1,113	9,342
貸出金平残 (B)	5,743,865	5,365,196	5,519,395
与信費用比率 (A)/(B)	0.48%	0.04%	0.17%

(単位:百万円)

【熊本ファミリー銀行単体】

	平成20年中間期	平成19年中間期	平成19年度
信用コスト (A)	1,272	3,470	13,871
貸出金平残 (B)	923,921	952,248	947,218
与信費用比率 (A)/(B)	0.27%	0.73%	1.46%

(単位:百万円)

【親和銀行単体】

	平成20年中間期	平成19年中間期	平成19年度
信用コスト (A)	△ 3,532	94,085	96,796
貸出金平残 (B)	1,340,407	1,485,504	1,450,800
与信費用比率 (A)/(B)	△ 0.53%	12.63%	6.67%

(単位:百万円)

9. ローン残高

【3行合算】

(単位:億円)

	20年9月末 (年率:%)		20年3月末		19年9月末
		20/3末比		19/9末比	
ローン残高	(5.4%) 20,541	492	20,050	558	19,492
うち住宅ローン	(6.8%) 18,761	581	18,180	616	17,564
うち消費者ローン	(△ 7.6%) 1,781	△ 89	1,870	△ 58	1,928

【参考】

(単位:億円)

	20年中間期	19年中間期比	19年中間期	19年度
住宅ローン実行額	(10.9%) 1,483	146	1,337	2,764

【福岡銀行単体】

(単位:億円)

	20年9月末 (年率:%)		20年3月末		19年9月末
		20/3末比		19/9末比	
ローン残高	(4.6%) 15,384	345	15,038	327	14,712
うち住宅ローン	(5.4%) 14,148	388	13,760	340	13,420
うち消費者ローン	(△ 4.3%) 1,235	△ 43	1,278	△ 13	1,291

【参考】

(単位:億円)

	20年中間期	19年中間期比	19年中間期	19年度
住宅ローン実行額	(15.0%) 1,052	137	915	1,911

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:億円)

	20年9月末 (年率:%)		20年3月末		19年9月末
		19/3末比		19/9末比	
ローン残高	(5.5%) 2,551	79	2,472	53	2,419
うち住宅ローン	(7.9%) 2,349	101	2,248	72	2,176
うち消費者ローン	(△ 16.7%) 202	△ 22	224	△ 19	242

【参考】

(単位:億円)

	20年中間期	19年中間期比	19年中間期	19年度
住宅ローン実行額	(18.4%) 234	36	197	390

【親和銀行単体】

(単位:億円)

	20年9月末 (年率:%)		20年3月末		19年9月末
		20/3末比		19/9末比	
ローン残高	(10.4%) 2,607	67	2,540	178	2,362
うち住宅ローン	(15.0%) 2,264	92	2,171	204	1,967
うち消費者ローン	(△ 12.9%) 343	△ 25	368	△ 26	394

【参考】

(単位:億円)

	20年中間期	19年中間期比	19年中間期	19年度
住宅ローン実行額	(△ 11.9%) 198	△ 27	225	462

10. 中小企業等貸出金残高・比率

【3行合算】

(単位:億円)

	20年9月末		20年3月末		19年9月末	
	(年率:%)	20/3末比		19/9末比		
中小企業等貸出金残高	(△ 4.2%)	58,726	△ 813	59,538	△ 1,761	61,299
中小企業等貸出金比率	—	73.1%	△ 0.8%	73.8%	△ 3.0%	76.8%

(注1) 特別国際金融取引勘定を除く。

(注2) 19年9月末の中小企業等貸出金残高には、福岡銀行のふくおかフィナンシャルグループ向け貸出金1,200億円を含んでおります。

【福岡銀行単体】

(単位:億円)

	20年9月末		20年3月末		19年9月末	
	(年率:%)	20/3末比		19/9末比		
中小企業等貸出金残高	(△ 1.8%)	40,539	70	40,469	△ 797	41,266
中小企業等貸出金比率	—	69.7%	△ 0.8%	70.5%	△ 3.4%	73.9%

(注) 特別国際金融取引勘定を除く。

【熊本ファミリー銀行単体】

(単位:億円)

	20年9月末		20年3月末		19年9月末	
	(年率:%)	20/3末比		19/9末比		
中小企業等貸出金残高	(△ 4.8%)	8,211	△ 193	8,403	△ 220	8,623
中小企業等貸出金比率	—	89.1%	△ 1.6%	90.7%	0.5%	90.2%

(注) 特別国際金融取引勘定を除く。

【親和銀行単体】

(単位:億円)

	20年9月末			20年3月末		19年9月末
	(年率:%)		20/3末比		19/9末比	
中小企業等貸出金残高	(△ 12.6%)	9,976	△ 690	10,666	△ 743	11,409
中小企業等貸出金比率	—	76.7%	0.2%	76.5%	△ 2.6%	79.1%

(注) 特別国際金融取引勘定を除く。

11. 国別貸出金状況等

(1) 特定海外債権残高

【3行合算】

(単位:百万円、ヶ国)

	20年9月末			20年3月末	19年9月末
		20/3末比	19/9末比		
債 権 額	—	—	△ 258	—	258
対 象 国 数	—	—	△ 1	—	1

【福岡銀行単体】

(単位:百万円、ヶ国)

	20年9月末			20年3月末	19年9月末
		20/3末比	19/9末比		
債 権 額	—	—	△ 258	—	258
対 象 国 数	—	—	△ 1	—	1

【熊本ファミリー銀行単体】

該当ございません。

【親和銀行単体】

該当ございません。

(2) アジア向け貸出金

【3行合算】

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
インドネシア	168	△ 29	△ 90	197	258
（うちリスク管理債権）	(168)	(△29)	(△90)	(197)	(258)
合 計	168	△ 29	△ 90	197	258
（うちリスク管理債権）	(168)	(△29)	(△90)	(197)	(258)

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
インドネシア	168	△ 29	△ 90	197	258
（うちリスク管理債権）	(168)	(△29)	(△90)	(197)	(258)
合 計	168	△ 29	△ 90	197	258
（うちリスク管理債権）	(168)	(△29)	(△90)	(197)	(258)

【熊本ファミリー銀行単体】

該当ございません。

【親和銀行単体】

該当ございません。

(3) 中南米主要国向け貸出金

【3行合算】

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
パナマ	55,291	2,814	22,628	52,477	32,663
（うちリスク管理債権）	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
バハマ	632	237	527	395	105
（うちリスク管理債権）	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
合 計	55,924	3,051	23,156	52,873	32,768
（うちリスク管理債権）	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)

【福岡銀行単体】

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
パナマ	53,291	2,814	20,628	50,477	32,663
（うちリスク管理債権）	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
バハマ	632	237	527	395	105
（うちリスク管理債権）	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
合 計	53,924	3,051	21,156	50,873	32,768
（うちリスク管理債権）	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)

【熊本ファミリー銀行単体】

該当ございません。

【親和銀行単体】

(単位:百万円)

	20年9月末	20／3末比	19／9末比	20年3月末	19年9月末
パナマ	2,000	—	2,000	2,000	—
（うちリスク管理債権）	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
合 計	2,000	—	2,000	2,000	—
（うちリスク管理債権）	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)

(4) ロシア向け貸出金

該当ございません。